

Canon Utilities

デジタル フォト プロフェッショナル

● Digital Photo Professional Ver. 2.1

対応 RAW 画像機種

- EOS-1D Mark II N
- EOS 5D
- EOS-1Ds Mark II
- EOS 30D
- EOS-1D Mark II
- EOS 20D
- EOS-1Ds
- EOS 10D
- EOS-1D
- EOS Kiss Digital N
- EOS D6000
- EOS Kiss Digital
- EOS D2000
- EOS D60
- PowerShot Pro1
- EOS D30

目次

はじめに

1 メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

2 編集画面で詳細な画像編集をする

3 セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

4 クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



この章では、Digital Photo Professional をお使いいただく前に知っておいていただきたい注意事項や、本使用説明書の操作方法、動作環境、対応画像の説明のほか、より快適にご使用いただくための、機能説明や画面構成、操作例などを記載しています。

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、弊社の製品をご購入いただきありがとうございます。

本書には製品をより安全にご使用いただくための注意事項や、操作の手助けとなるマークなどが本書の冒頭に記載されています。これらの内容をご一読いただいてから、各章の内容をお読みになり、正しくご使用ください。

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- ソフトウェアの仕様および、本書の内容を予告無く変更することがあります。
- 本書に掲載しているソフトウェアの画面や表示文言は、実際のソフトウェアと微小に相違することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一、誤りや記載もれなど、お気付きの点がありましたら、別紙のサービス窓口までご連絡ください。
- ソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

登録商標について

- Canon および EOS は、キヤノン株式会社の商標です。
- iBook および iMac、QuickTime は、米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Macintosh および PowerBook、Power Macintosh は、米国および他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe、Photoshop は、アドビシステムズ社の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

- 表示したい項目をクリックすると、クリックしたページが表示されます。

ご使用前に必ずお読みください.....	0-1
動作環境.....	0-1
対応画像.....	0-1
本使用説明書の使いかた.....	0-2
各機能画面の構成.....	0-3
主な機能.....	0-4
機能目次.....	0-5
操作例.....	0-6

動作環境

OS (オーエス)	Mac OS X 10.2 ~ 10.4
機 種	上記の日本語版 OS がインストールされている Macintosh
CPU (シーピーユー)	G3 400MHz 以上
RAM (ラム)	512MB 以上
ディスプレイ	解像度：1024 × 768 以上 カラー：約 32,000 カラー以上

- UFS (UNIX File System) フォーマットされたディスクには対応していません。

対応画像

本ソフトウェアが対応しているのは、以下の画像です。

画像の種類 / 撮影したカメラ		拡張子
RAW 画像	EOS-1D Mark II N、EOS-1Ds Mark II、EOS-1D Mark II、EOS 5D、EOS 30D、EOS 20D、EOS Kiss Digital N、EOS D6000*1、EOS D2000*1	.CR2
	EOS-1Ds、EOS-1D	.TIF
	EOS 10D、EOS Kiss Digital、EOS D60、EOS D30、PowerShot Pro1*2	.CRW
RGB 画像	JPEG 画像	Exif 2.2、2.21 に準拠した JPEG 画像 .JPG / .JPEG
	TIFF 画像	Exif 規格に準拠した TIFF 画像 .TIF / .TIFF

*1 専用の変換ソフトウェアで「.CR2」の拡張子が付いた RAW 画像に変換した画像。

EOS D6000、EOS D2000 の撮影画像を変換するソフトウェアについては、弊社ホームページをご覧ください。

*2 Digital Photo Professional の RAW 画像調整機能では編集できません。

表紙 / 目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

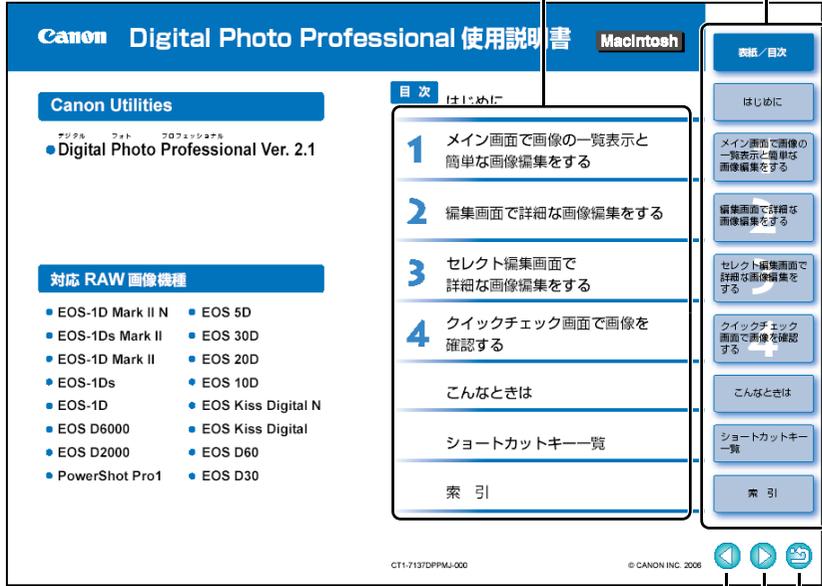
ショートカットキー一覧

索引



本使用説明書の使いかた

クリックすると各章の章扉ページへ移動します。



クリックすると前のページへ移動します。

クリックすると次のページへ移動します。

クリックすると一つ前に表示していたページに戻ります。

- 本書では、Mac OS X 10.3 を使用したときの画面を例に説明しています。
- Digital Photo Professional の使い方については、【ヘルプ】メニュー ▶ 【Digital Photo Professional ヘルプ】 を選ぶと表示されるヘルプもあわせて参照してください。
- Digital Photo Professional の制限事項については、下記の情報もあわせて参照してください。

ReadMe : 【Canon Utilities】フォルダ ▶ 【Digital Photo Professional】フォルダ ▶ 【ReadMe (Digital Photo Professional)】の順にダブルクリックして表示します。

! : このマークのついた文章は、ソフトウェアやパソコンの操作に不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。

青で記載された () 内の文字や文章中の青文字は、参照ページを示しています。また、クリックすると、該当するページに移動します。



! : このマークのついた文章は、基本操作に加えて、知っていただきたい事項が書かれています。

[] 内の語句は、パソコンの画面上に表示されるメニュー名称、ボタン名称、画面名称などを示しています。

- 本文中の < > 内の語句は、キーボードやカメラのボタン名称を示しています。
- 本文中の ▶ は、次のような操作の流れを示しています。
例 : 【表示】メニュー ▶ 【整列】 ▶ 【ファイル名】



表紙 / 目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



各機能画面の構成

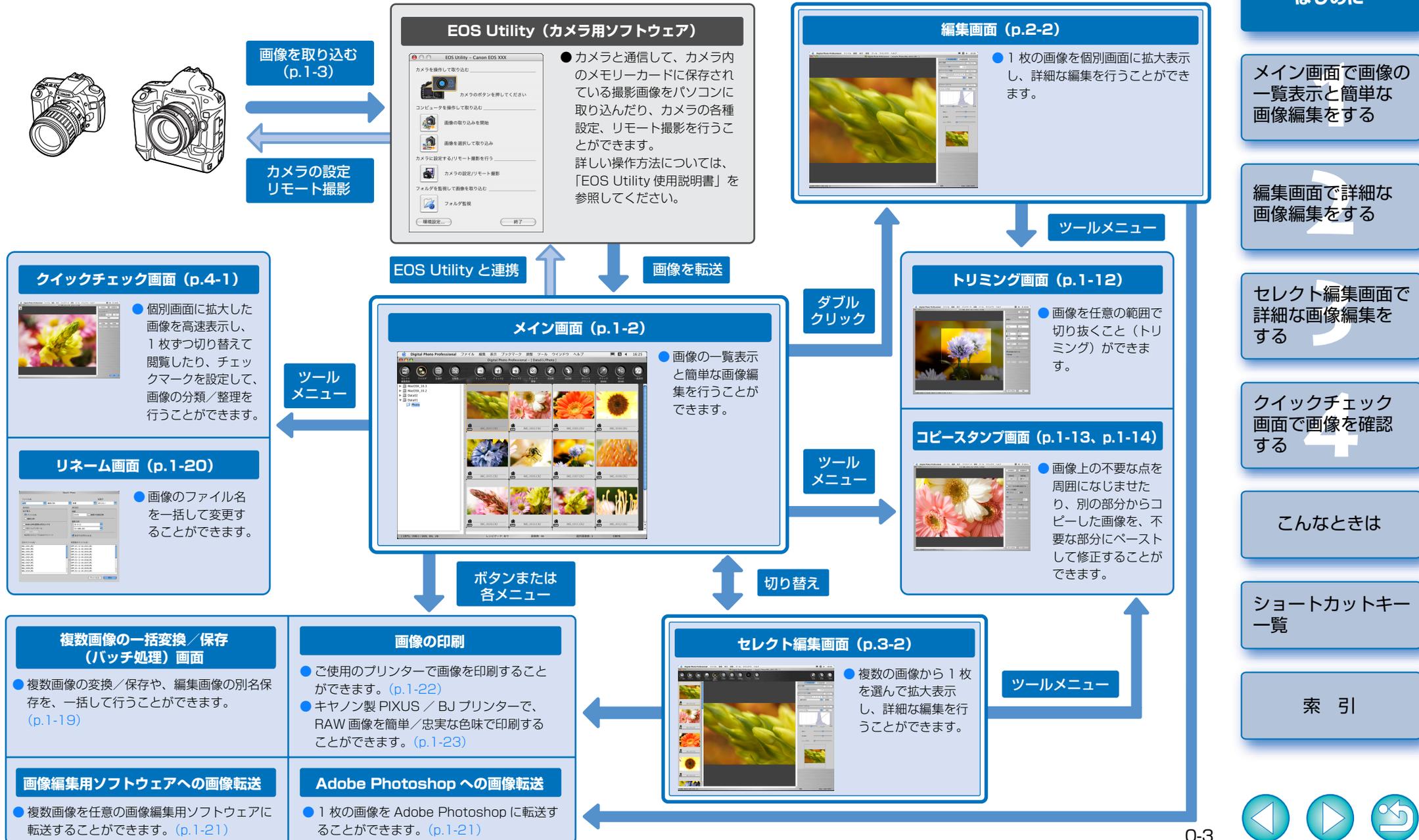
本ソフトウェアは、メイン画面を中心にした各種機能画面で構成されています。

→ : 撮影画像の流れを示しています。

□ : Digital Photo Professional の画面および、操作内容を示しています。

⇄ : カメラとソフトウェアの連携や、ソフトウェア間の連携を示しています。

□ : EOS Utility の画面および、操作内容を示しています。



表紙/目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

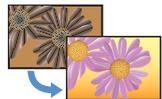
こんなときは

ショートカットキー一覧

索引

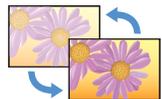
主な機能

本ソフトウェアは、RAW 画像撮影が主体のプロ・ハイアマのユーザーニーズに応える、次のような特徴や機能を備えたキヤノン製デジタルカメラ専用の RAW 画像閲覧／編集ソフトウェアです。



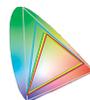
RAW 画像の高速現像

- キヤノン独自の高性能アルゴリズムにより、RAW 画像の高速現像処理と高速表示を実現しています。
- キヤノン純正ソフトウェアならではの高画質な現像処理を行うことができます。



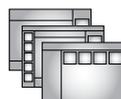
リアルタイム画像調整

- 調整結果がリアルタイムで画像に適用される各種の画像調整機能を搭載しています。
- すべての画像調整機能は、16bit で高精度に調整することができます。
- カメラの調整項目よりも豊富で自由度のある RAW 画像調整機能や、RAW 画像、RGB 画像（JPEG 画像、TIFF 画像）の編集が可能な RGB 画像調整機能により、各種の画像編集を行うことができます。また、RAW 画像調整機能で編集した RAW 画像は、画質がほとんど劣化しません。
- RAW 画像調整機能の項目：
明るさ調整、ホワイトバランス調整、ピクチャースタイル設定
- RGB 画像調整機能の項目：
トーンカーブ自動調整（トーンカーブアシスト）、トーンカーブ調整、色調整、シャープネス調整
- その他の調整機能の項目
画像の回転（左右 90 度単位）、切り抜き（トリミング）、画像修正（リペア、コピースタンプ）
- レシピ（編集した画像の各種調整結果）を保存／読み込み／別の画像へ適用することができます。
- 編集前後比較表示機能により、調整前、調整後の画像を同一画面上に表示して、比較しながら調整することができます。



カラーマネジメント

- カラーマネジメントシステムに対応しています。
- 5 種類の色空間（sRGB、Adobe RGB、Apple RGB、ColorMatch RGB、Wide Gamut RGB）に対応しています。
- 保存画像に ICC プロファイルを付加することができます。
- モニターやプリンターのプロファイルを設定することができます。
- CMYK シミュレーション機能により、印刷機等の CMYK 環境で印刷したときの色味をシミュレーションすることができます。



プロのワークフローに応える各種の画面

- 軽快な動作と、目的にあわせた各種の機能画面を装備しています。
- | | |
|------------|---|
| メイン画面 | ：画像を一覧表示（サムネイル画像表示）して、画像の選別や並べ替え、簡単な画像編集を行うことができます。また、複数の画像を一括して編集（同じ編集内容の適用や、同じ種類の画像への変換など）したい場合などに適しています。 |
| 編集画面 | ：1 枚の画像を拡大表示して、詳細な画像編集を行うことができます。時間をかけて 1 枚の画像を編集したい場合に適しています。 |
| セレクト編集画面 | ：サムネイル画像と拡大画像の両方を表示して、詳細な画像編集を行うことができる、メイン画面と編集画面、両方の機能を兼ね備えた画面です。複数の画像を、時間をかけて編集したい場合などに適しています。 |
| クイックチェック画面 | ：拡大した画像を 1 枚ずつ順番に切り換えて表示します。画像の確認と選別をすばやく行う場合に適しています。 |

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



機能目次

Digital Photo Professional は、次のような機能を備えています。また、各機能が操作できる画面と、その操作方法を記したページを記載しています。

■表示機能

	メイン画面	編集画面	セレクト編集画面	クイックチェック画面
● RAW 画像表示	p.1-2	p.2-2	p.3-1	p.4-1
● RGB 画像 (JPEG 画像、TIFF 画像) 表示	p.1-2	p.2-2	p.3-1	p.4-1
● 撮影情報表示 画像のヒストグラムや撮影時の情報を表示します。	p.1-5	-	-	-
● 画像情報表示 画像の情報を表示します。	p.1-6	p.1-6	p.1-6	-
● グリッド表示 画像の水平度や垂直度を確認するためのグリッド線を表示します。	-	p.2-3	p.2-3	-
● 編集前後比較表示 編集前、編集後の画像を同一画面に表示します。	-	p.2-3	p.2-3	-

■画像調整機能

	メイン画面	編集画面	セレクト編集画面	クイックチェック画面
● 画像回転 画像を左右 90 度に回転します。	p.1-2	p.2-2	p.3-2	p.4-1
● 切り抜き (トリミング) 画像を任意の範囲で切り抜きます。	p.1-12	p.1-12	p.1-12	-
● 画像修正 (リペア、コピースタンプ) 画像上の不要な点を周囲になじませたり、別の画像をペーストして、画像を修正します。	p.1-13 p.1-14	p.1-13 p.1-14	p.1-13 p.1-14	-

■ RAW 画像調整機能

	メイン画面	編集画面	セレクト編集画面	クイックチェック画面
● ホワイトバランス調整 設定値を選んだり、色温度やカラーホイールを操作して調整します。	p.1-7	p.2-5	p.2-5	-
● クリックホワイトバランス 選んだ箇所を白の基準として調整します。	p.1-9	p.2-5	p.2-5	-
● 明るさ調整 RAW 画像の明るさを調整します。	p.1-10	p.2-4	p.2-4	-
● 色空間設定 初期設定とは違った色空間を個別の画像に設定します。	p.1-10	p.1-10	p.1-10	-
● ピクチャースタイル設定 ピクチャースタイルを選んだり、色あい、色の濃さ、シャープネスを調整して画像に適用します。	-	p.2-6	p.2-6	-

※ RAW 画像調整機能を使用した編集作業では、画像の劣化はほとんどありません。

■ RGB 画像調整機能

	メイン画面	編集画面	セレクト編集画面	クイックチェック画面
● トーンカーブ自動調整 (トーンカーブアシスト) トーンカーブを自動的に調整して、標準的な画像の明るさや色に調整します。	p.1-11	p.2-8	p.2-8	-
● 明るさ調整 表示できるすべての画像の明るさを調整します。	p.1-11	-	-	-
● トーンカーブ調整 チャンネル別にトーンカーブを直接操作して、画像を調整します。 明るさやコントラストを個別に調整することができます。	-	p.2-9 p.2-10	p.2-9 p.2-10	-
● 色調整 色あい、色の濃さ、シャープネスを調整します。	-	p.2-10	p.2-10	-

■整理機能

	メイン画面	編集画面	セレクト編集画面	クイックチェック画面
● 画像の並べ替え	p.1-6	-	-	-
● チェックマーク設定	p.1-2	p.2-2	p.3-2	p.4-1

■印刷機能

	メイン画面	編集画面	セレクト編集画面	クイックチェック画面
● 1 枚印刷 (自動設定) 1 枚の用紙に 1 つの画像を、自動的にレイアウトして印刷します。	p.1-22	p.1-22	p.1-22	-
● 1 枚印刷 (詳細指定) 各種の設定を行い、1 枚の用紙に 1 つの画像を自由にレイアウトして印刷します。	p.1-22	p.1-22	p.1-22	-
● コンタクトシート印刷 各種の設定を行い、複数の画像をならべて印刷します。	p.1-23	p.1-23	p.1-23	-
● Easy-PhotoPrint、Easy-PhotoPrint Pro との連携印刷 上記に対応した PIXUS / BJ プリンターで印刷することができます。	p.1-23	p.1-23	p.1-23	-
● imagePROGRAF Print Plug-In との連携印刷 上記に対応したキヤノン製大判プリンターで印刷することができます。	p.1-24	p.1-24	p.1-24	-

表紙 / 目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

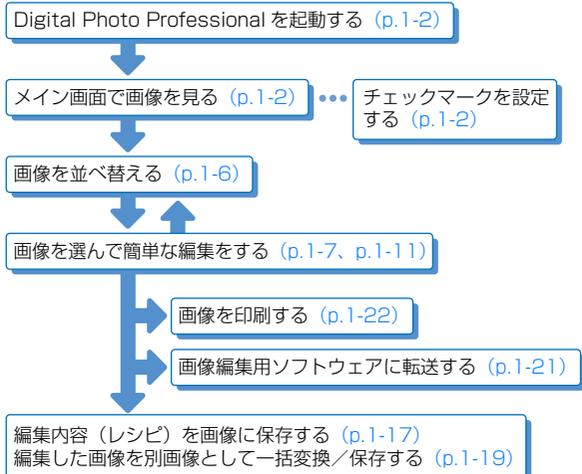
索引



操作例

Digital Photo Professional の代表的な操作方法を紹介します。

例 1：メイン画面で画像の一覧表示と簡単な編集をする



例 2：セレクト編集画面で複数の画像から 1 枚を選んで詳細な編集をする



例 3：編集画面で 1 枚の画像に詳細な編集をする



例 4：クイックチェック画面で画像を確認する



例 5：編集した画像の編集内容 (レシピ) を別の画像に適用する



例 6：EOS Utility と連携したカメラからの画像取り込み/リモート撮影



表紙/目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



1 メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

この章では、メイン画面の各機能や画像の表示方法、簡単な画像編集について説明します。

● 表示したい項目をクリックすると、クリックしたページが表示されます。

Digital Photo Professional を起動する	1-2
画像を表示する	1-3
カメラから画像を取り込む	1-3
フォルダ操作	1-4
新しいフォルダを作成する	1-4
よく使うフォルダをブックマークに登録する	1-4
ブックマークを整理する	1-4
画像をコピーする	1-5
画像を削除する	1-5
画像の表示方法を選ぶ	1-5
サムネイル表示の大きさを選ぶ	1-5
撮影情報を表示する	1-5
画像にサムネイルを付加する	1-5
画像を並べ替える	1-6
画像情報を表示する	1-6
編集画面表示	1-6
セレクト編集画面表示	1-6
クイックチェック画面表示	1-6
RAW 画像調整機能で RAW 画像を編集する	1-7
ホワイトバランスを調整する	1-7
クリックホワイトバランス	1-9
明るさを調整する	1-10
初期設定とは別の色空間を設定する	1-10
RGB 画像調整機能で画像を編集する	1-11
トーンカーブ自動調整 (トーンカーブアシスト)	1-11
明るさを調整する	1-11

トリミング機能で画像を切り抜く	1-12
コピースタンプ機能で画像を修正する	1-13
リペア機能で画像を修正する	1-13
コピースタンプ機能で画像を修正する	1-14
編集内容 (レシピ) を使用する	1-15
レシピを保存する	1-15
レシピを読み込んでペーストする	1-15
レシピをコピーして別の画像に適用する	1-15
編集内容を元の状態に戻す	1-17
最後に保存した状態に戻す	1-17
撮影時の状態に戻す	1-17
編集内容を画像に保存する	1-17
上書き保存する	1-17
別画像として保存する	1-17
編集した画像を変換 / 別画像として保存する	1-18
1 枚の画像を変換 / 別画像として保存する	1-18
複数の画像を一括して変換 / 別画像として保存する (バッチ処理)	1-19
ファイル名を一括して変更する	1-20
画像編集用ソフトウェアに画像を転送する	1-21
1 枚の画像を Photoshop に転送する	1-21
複数の画像を画像編集用ソフトウェアに転送する	1-21
画像を印刷する	1-22
1 枚印刷 (自動設定印刷)	1-22
1 枚印刷 (詳細指定印刷)	1-22
コンタクトシート印刷	1-23
キヤノン製 PIXUS / BJ プリンターで印刷する	1-23
キヤノン製大判プリンターで印刷する	1-24
リモート撮影機能との連携	1-24
環境設定	1-25

表紙 / 目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



Digital Photo Professional を起動する

Digital Photo Professional を起動して、パソコンに保存されている画像の表示／編集を行うことができます。なお、Digital Photo Professional で画像の表示／編集を行うには、事前に撮影した画像をパソコンに取り込んでおきます。カメラからパソコンへの画像取り込みについては、「カメラから画像を取り込む」(p.1-3) と、「EOS Utility 使用説明書」を参照してください。

Dock に登録された [Digital Photo Professional] アイコンをクリックする

→ Digital Photo Professional が起動して、メイン画面が表示されます。

● [Canon Utilities] フォルダ ▶ [Digital Photo Professional] フォルダ ▶ [Digital Photo Professional] アイコンの順にダブルクリックして起動することもできます。

メニューバー

[Digital Photo Professional]、[ファイル]、[編集]、[表示]、[ブックマーク]、[調整]、[ツール]、[ウインドウ]、[ヘルプ] メニューを表示します。

メイン画面がセレクト編集画面に切り換わります。(p.1-6、p.3-1)

フォルダエリアを表示／非表示にします。

画像表示エリア内のすべての画像を選びます。

画像表示エリア内の選択画像がすべて解除されます。

フォルダエリア

選んだフォルダ内の画像が、画像表示エリアに表示されます。

クリックホワイトバランス (p.1-9) の操作中は、カーソルの座標位置と RGB 値 (8bit 換算) を表示します。



選んだ画像に 3 種類のチェックマークから 1 つを選んで設定します。

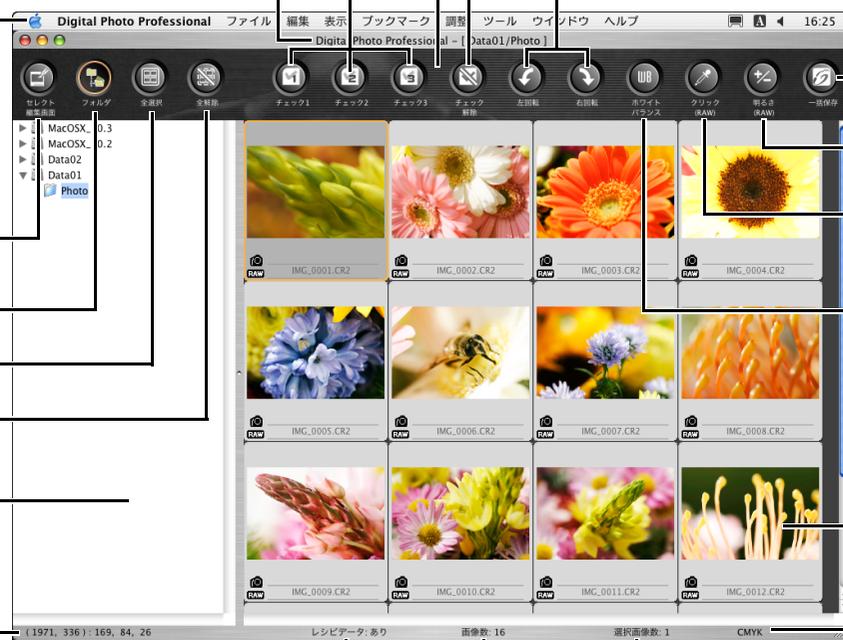
フォルダエリアで選んだフォルダのパスが表示されます。

メイン画面

ツールバー

選んだ画像のチェックマークをすべて解除します。

選んだ画像を左右に 90 度回転します。



画像を一括で保存します。(p.1-19)

RAW 画像の明るさを調整します。(p.1-10)

RAW 画像をクリックホワイトバランスで調整します。(p.1-9)

RAW 画像のホワイトバランスを調整します。(p.1-7)

画像表示エリア

フォルダエリアで選んだフォルダ内の画像が表示されます。

CMYK シミュレーション (p.1-26) を設定したときは、[CMYK] が表示されます。

選んだ画像のレシビ (p.1-15) 付加状態を表示します。

画像の総数を表示します。

現在選ばれている画像数を表示します。

- 画像を選ぶときは、目的の画像をクリックします。
- 複数の画像を選ぶときは、**⌘** キーを押したまま画像をクリックします。

- ツールバーの機能ボタンとメニューバーの各メニューでは、同様の操作を行うことができます。
- ショートカットキーについては、「ショートカットキー一覧」(p.5-2) を参照してください。

- 連続した画像を選ぶときは、最初の画像をクリックしたあと、**⌘** キーを押したまま最後の画像をクリックします。
- RAW 画像のみや、チェックマークを設定した画像のみなど、条件にあった画像のみを選ぶときは、[編集] メニューから条件にあった画像の選択項目を選びます。
- [表示] メニュー ▶ [ツールバー] を選ぶと、ツールバーを表示／非表示にすることができます。
- Digital Photo Professional の終了は、[Digital Photo Professional] メニュー ▶ [Digital Photo Professional を終了] を選びます。

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

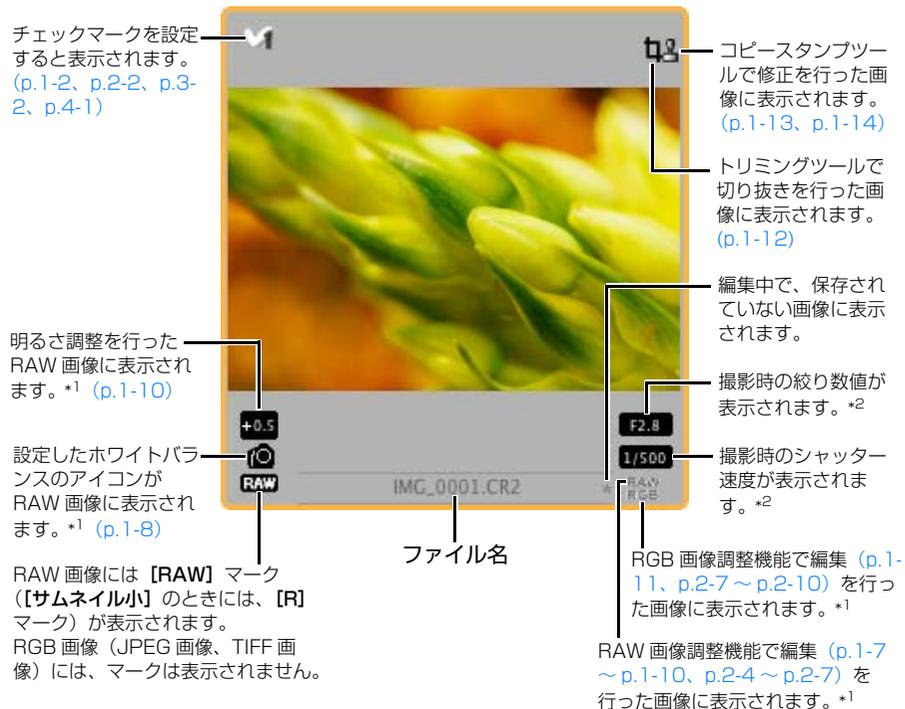
ショートカットキー一覧

索引



画像に表示される情報

下の画像は、**【サムネイル大】** (p.1-5) を選んだときに表示される情報です。



*1 【サムネイル小】では表示されません。

*2 【サムネイル中】、【サムネイル小】では表示されません。

! PowerShot Pro1のRAW画像には、**【RAW】**マークは表示されません。

画像を表示する

パソコンに保存されている画像をメイン画面に表示します。

画像が保存されているフォルダをクリックする

→ フォルダ内の画像が画像表示エリアに表示されます。



! カメラ内のメモリーカードに保存されている画像は表示できません。あらかじめ、EOS Utility や市販のカードリーダーを使用して、画像をパソコンに保存してください。

● EOS 10D、EOS Kiss Digital、PowerShot Pro1 で Adobe RGB に設定し、撮影した JPEG 画像は、sRGB の色空間が適用されて表示されることがあります。

表示できない画像は、**【×】**が表示されます。表示できる画像については、「対応画像」を参照してください。(p.0-1)

● カメラで縦横自動回転を設定して縦位置撮影した画像は、自動的に縦位置で表示されます。

● 市販のカードリーダーがパソコンに接続されているときは、カメラから取り出したメモリーカードをカードリーダーに差し込んで、画像を表示することもできます。そのときは、EOS Utility 使用説明書の「フォルダ構造とファイル名について」の内容を参考にして、撮影画像が保存されているフォルダを選んでください。

カメラから画像を取り込む

カメラとの通信ソフトウェア「EOS Utility」と連携して、カメラ内の CF カードに保存された撮影画像をパソコンに取り込むことができます。

EOS Utility の詳しい操作方法については、「EOS Utility 使用説明書」を参照してください。

1 Digital Photo Professional を起動する (p.1-2)

2 【ツール】メニュー ▶ 【EOS Utility を起動】を選ぶ

→ 【EOS Utility】が起動します。

3 カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続し、カメラの電源スイッチを〈ON〉にする

4 【EOS Utility】の【画像の取り込みを開始】ボタンを押す

→ 画像がパソコンに取り込まれ、Digital Photo Professional のメイン画面に取り込んだ画像が表示されます。

● Digital Photo Professional のメイン画面に画像が表示されないときは、【ツール】メニュー ▶ 【EOS Utility とフォルダを同期】を選ぶと、EOS Utility が画像を保存するフォルダと Digital Photo Professional が表示するフォルダが同期するようになります。

表示できない画像は、**【×】**が表示されます。表示できる画像については、「対応画像」を参照してください。(p.1-25)

● EOS Utility のリモート撮影機能と連携した画像の取り込みにも対応しています。(p.1-24)

表紙/目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



フォルダ操作

フォルダを〈control〉＋クリックして表示されるメニューで、各種のフォルダ操作を行うことができます。

フォルダを〈control〉＋クリックし、表示されるメニューから操作を選ぶ

- フォルダエリアのフォルダは、ドラッグアンドドロップで他のフォルダへ移動したり、〈option〉キーを押しながらドラッグアンドドロップすると、コピーすることができます。



新しいフォルダを作成する

フォルダエリアに新しいフォルダを作成することができます。

1 フォルダを作成する場所をフォルダエリアで選ぶ

2 【ファイル】メニュー▶【新規フォルダの作成】を選ぶ

→ フォルダ名の入力画面が表示されます。

3 フォルダ名を入力して【OK】ボタンを押す

→ フォルダが作成されます。

よく使うフォルダをブックマークに登録する

よく使うフォルダを【ブックマーク】メニューに登録することができます。

1 フォルダエリアでフォルダを選ぶ

2 【ブックマーク】メニュー▶【追加】を選ぶ

→ 【ブックマーク】メニューに選んだフォルダが登録されます。

- 登録されたフォルダは、【ブックマーク】メニューから選ぶことができます。

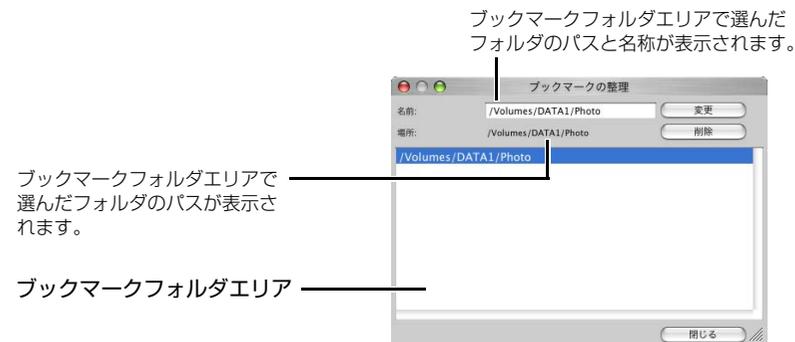
ブックマークを整理する

【ブックマーク】メニューに登録されたフォルダの名前を変更したり、登録したフォルダを削除することができます。

1 【ブックマーク】メニュー▶【整理】を選ぶ

→ 【ブックマークの整理】画面が表示されます。

2 フォルダ名を変更または削除する



ブックマークフォルダエリアで選んだフォルダのパスが表示されます。

ブックマークフォルダエリア

- フォルダ名を変更するときは、ブックマークフォルダエリアでフォルダを選び、表示されたフォルダ名を変更して、【変更】ボタンを押します。
- フォルダを削除するときは、ブックマークフォルダエリアでフォルダを選び、【削除】ボタンを押します。

3 【閉じる】ボタンを押す

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



画像をコピーする

画像をコピーして他のフォルダに保存することができます。

- 1 コピーする画像を選ぶ
- 2 **【編集】メニュー ▶ 【コピー】** を選ぶ
→ 画像がコピーされます。
- 3 画像を保存するフォルダを選ぶ
- 4 **【編集】メニュー ▶ 【ペースト】** を選ぶ
→ 選んだフォルダに画像がコピーされます。

画像を削除する

不要な画像をパソコンのごみ箱に移動して削除します。

- 1 画像を選び、**【ファイル】メニュー ▶ 【削除】** を選ぶ
→ 画像がゴミ箱に移動します。
- 2 デスクトップ上で、**【Finder】メニュー ▶ 【ゴミ箱を空にする】** を選ぶ
→ 画像が削除されます。

- ❗ 手順 2 の操作で削除した画像は復元できません。十分に確認してから削除してください。
- 複数の画像を選んでいるときは、選んだすべての画像が削除の対象となります。直前の作業で複数の画像を選んだときなどは、特に注意してください。

📁 EOS 10D、EOS Kiss Digital、EOS D60、EOS D30、PowerShot Pro1 で撮影した画像が保存されている **【xxxCANON】** フォルダには、**【CRW_YYYY.CRW】** (RAW 画像)、**【IMG_YYYY.JPG】** (JPEG 画像) の他に **【CRW_YYYY.THM】** (カメラのインデックス表示用画像) が保存されています。Digital Photo Professional では **【CRW_YYYY.THM】** は表示されないため、移動や削除はできません。**【CRW_YYYY.THM】** の移動や削除は、EOS Utility 使用説明書の「フォルダ構造とファイル名について」の内容を参考にして、ファインダー上で行ってください。
※フォルダ名の **【xxx】** と、画像名の **【YYYY】** には、それぞれ数字が入ります。

画像の表示方法を選ぶ

画像の大きさや表示方法を変更したり、条件別に並べ替えることができます。

サムネイル表示の大きさを選ぶ

画像の大きさを **【サムネイル大】**、**【サムネイル中】**、**【サムネイル小】** の 3 種類から選ぶことができます。表示枠には、各種の情報 (p.1-3) が表示されます。

- 【表示】メニュー ▶ 設定する大きさの項目を選ぶ**
→ 選んだ大きさで画像が表示されます。

撮影情報を表示する

画像の輝度ヒストグラムと撮影情報を表示することができます。

- 【表示】メニュー ▶ 【情報付きサムネイル】** を選ぶ
→ 撮影情報付の画像が表示されます。

画像にサムネイルを付加する

メイン画面の表示に使用するサムネイル画像を新規に作成し、それぞれの画像に付加します。メイン画面での画像表示速度や、画質が向上します。

- 画像を選び、**【ファイル】メニュー ▶ 【画像にサムネイルを付加して保存】** を選ぶ

❗ 大量の画像を選んだときは、付加するまでに時間がかかることがあります。

表紙 / 目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



画像を並べ替える

画像を条件によって並べ替えることができます。

【表示】メニュー ▶ 【整列】 ▶ 設定する条件の項目を選ぶ

→ 選んだ条件で画像が並べ替えられます。

- 【ファイル名】 : ファイル名が 0 ~ 9 → a ~ z の順に並びます。
- 【RAW 優先】 : RAW 画像 (CR2 → CRW → TIF) → RGB 画像 (JPG → TIF) の順に並びます。拡張子が同じときは、【ファイル名】順に並びます。
- 【チェックマーク 1】 : 選んだ番号のチェックマークが付いた画像 → 他の番号の
- 【チェックマーク 2】 : チェックマークが付いた画像 → チェックマークのない画像の
- 【チェックマーク 3】 : 順に並びます。チェックマーク番号が同じときは、【ファイル名】順に並びます。
- 【撮影日時】 : 撮影日時の早い順に並びます。撮影日時が同じときは、【ファイル名】順に並びます。

 【チェックマーク 1】 ~ 【チェックマーク 3】 を選んだときの並び順は、例えば、チェックマーク 1 ~ 3 をすべて使用しているときに、【チェックマーク 1】を選んだときは、1 → 2 → 3 の順に並びます。【チェックマーク 2】を選んだときは、チェックマーク 2 → 1 → 3 の順に並びます。【チェックマーク 3】を選んだときは、チェックマーク 3 → 2 → 1 の順に並びます。

画像情報を表示する

画像の各種情報を確認することができます。

画像を選び、【ファイル】メニュー ▶ 【画像情報】を選ぶ

→ 画像情報画面が表示されます。

 EOS 10D、EOS Kiss Digital、PowerShot Pro1 で Adobe RGB に設定し、撮影した JPEG 画像は、画像情報が表示されないことがあります。

編集画面表示

画像を拡大表示して、詳細な編集を行うことができます。

画像をダブルクリックする

- 編集画面が表示されます。
- 編集画面については、「編集画面で詳細な画像編集をする」(p.2-1) を参照してください。

セレクト編集画面表示

複数の画像から、1 枚の画像を選んで、詳細な編集を行うことができます。

複数の画像を選び、【セレクト編集画面】ボタンを押す

- メイン画面がセレクト編集画面に切り換わります。
- セレクト編集画面については、「セレクト編集画面で詳細な画像編集をする」(p.3-1) を参照してください。



クイックチェック画面表示

画像を個別に拡大表示して、1 枚ずつ高速に閲覧／確認をすることができます。

複数の画像を選び、【ツール】メニュー ▶ 【クイックチェックツールを起動】を選ぶ

- クイックチェック画面が表示されます。
- クイックチェック画面については、「クイックチェック画面で画像を確認する」(p.4-1) を参照してください。

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

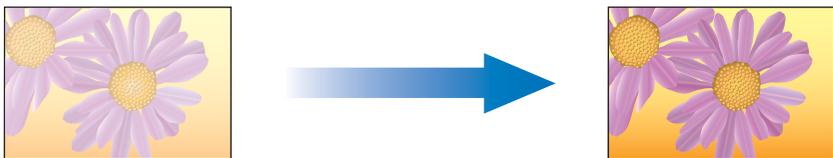
ショートカットキー一覧

索引



RAW 画像調整機能で RAW 画像を編集する

RAW 画像に各種の編集を行うことができます。なお、RAW 画像調整機能 (p.1-7 ~ p.1-10) で編集を行うと、編集にともなう画像の劣化がほとんどありません。そのため、撮影時の画質を保持したまま、何度でも編集することができます。



1 RAW 画像を選ぶ

2 RAW 画像を編集する (p.1-7 ~ p.1-10)

- 編集内容は、コピーして別の画像にペーストし、適用することもできます。(p.1-15)
- 編集した画像を、最後に保存した状態や撮影時の状態に戻すことができます。(p.1-17)

3 編集内容を画像に保存する (p.1-17)

- 編集した RAW 画像を、RGB 画像 (JPEG 画像、TIFF 画像) に変換して保存することもできます。(p.1-18)

- ! ● PowerShot Pro1 の RAW 画像は編集できません。
- RGB 画像 (JPEG 画像、TIFF 画像) は、RAW 画像調整機能で編集できません。
- 編集内容を画像に保存する前に Digital Photo Professional を終了すると、画像に行った編集内容は保持されません。必ず、編集内容を画像に保存 (p.1-17) してから終了してください。

- 📄 ● 複数の画像を選んでいるときは、選んだすべての画像に編集内容が適用されます。
 - 編集内容は、画像とは別の単独ファイルとして保存することができます。(p.1-15)
 - 編集した画像は、画像編集用ソフトウェアに転送することができます。(p.1-21)
 - RAW 画像の編集は、編集にともなう画像の劣化がほとんどおこらない RAW 画像調整機能 (p.1-7 ~ p.1-10) で編集することをおすすめします。RGB 画像調整機能 (p.1-11) にも同様の機能がありますが、編集にともない多少なりとも画像が劣化します。そのため、RAW 画像調整機能だけでは編集が足りないときに、追加して RGB 画像調整機能を使うことで、画像の劣化を最小限に抑えた効率的な RAW 画像編集を行うことができます。
 - Digital Photo Professional で行った編集内容は、画像を直接編集しているのではなく、仮想的に編集内容 (レシピ) (p.1-15) を適用して画像を表示しています。そのため、編集した画像を撮影時の状態や、最後に保存した状態に戻す (p.1-17) こともでき、何度でも編集作業をやり直すことができます。
- なお、編集内容にそって直接編集した画像を作成するときは、編集した画像とは別の画像に変換/保存します。(p.1-18) ただし、この手順で作成した画像は、画像を直接編集しているため、編集前の状態に戻すことはできません。

ホワイトバランスを調整する

ホワイトバランスを各種の方法で設定することができます。

1 【ホワイトバランス】 ボタンを押す (p.1-2)

- 【ホワイトバランス調整】 画面が表示されます。
- 【調整】 メニュー ▶ 【ホワイトバランス】 を選んで表示することもできます。

2 各種の方法でホワイトバランスを調整する (p.1-8、p.1-9)

- 画像を調整前の状態に戻すときは、【リセット】 ボタンを押します。

3 【閉じる】 ボタンを押す

表紙/目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

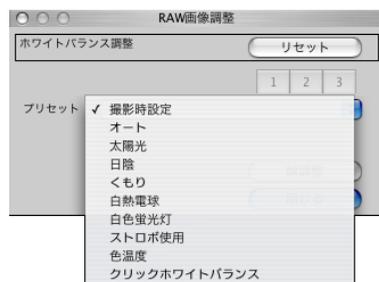
索引



ホワイトバランスを選ぶ

ホワイトバランスを設定することができます。

リストボックスからホワイトバランスを選ぶ

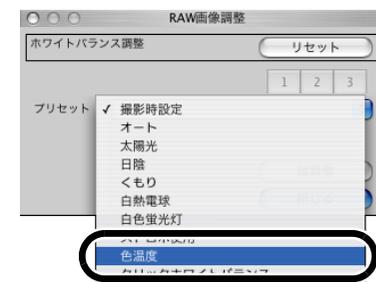


ホワイトバランス	内容	色温度 K (ケルビン)
撮影時設定	撮影時のホワイトバランスを適用するときに選びます。	—
オート	自動的にホワイトバランスを調整します。	約 3000 ~ 7000
太陽光	晴天の屋外で撮影したときに選びます。	約 5200
日陰	屋外の日陰で撮影したときに選びます。	約 7000
くもり	くもり、薄暮、夕やけ空などで撮影したときに選びます。	約 6000
白熱電球	白熱電球の照明で撮影したときに選びます。	約 3200
白色蛍光灯	白色蛍光灯の照明で撮影したときに選びます。	約 4000
ストロボ使用	ストロボを使用して撮影したときに選びます。	約 6000
色温度	ホワイトバランスの色温度を 2800 ~ 10000K (100K ステップ) の範囲で直接設定することができます。	約 2800 ~ 10000
クリック ホワイト バランス	クリックホワイトバランス (p.1-9) を行った画像を選んだときに表示されます。	—

色温度を設定する

色温度を 2800 ~ 10000K (100K ステップ) の範囲で設定することができます。

1 リストボックスから【色温度】を選ぶ



2 画像を見ながら調整する



表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



カラーホイールで調整する

カラーホイールで好みの色を直接選んで調整することができます。

また、色あいを 0 ~ 359 (1 ステップ)、色の濃さを 0 ~ 255 (1 ステップ) の範囲で設定することもできます。

1 【微調整】 ボタンを押す

→ カラーホイールが表示されます。



2 画像を見ながら調整する

● 【口】 をドラッグして調整します。



数値を入力するか、
【▲】 / 【▼】 ボタンを
押して設定することも
できます。

カスタムホワイトバランス

編集画面または、セレクト編集画面で登録したカスタムホワイトバランス (p.2-5) を適用することができます。

【1】 ~ 【3】 のボタンを押す

→ 登録されているカスタムホワイトバランスが適用されます。



! カスタムホワイトバランス未登録時は使用できません。

クリックホワイトバランス

選んだ個所を白の基準として、画像の色を調整することができます。

1 【クリック (RAW)】 ボタンを押す (p.1-2)

→ 画像の上にカーソルを移動すると、【口】 が 【マウス】 に変わります。

2 白の基準とする個所をクリックする

- 選んだ個所を白の基準として画像の色が調整されます。
- 続けて別の個所をクリックすると、再度調整されます。
- クリックホワイトバランスを終了するときは、【クリック (RAW)】 ボタンを押します。



- カーソルの座標位置と RGB 値 (8bit 換算) がメイン画面の左下に表示されます。(p.1-2)
- クリックした個所から 1 × 1 ピクセルの値を基準に画像が調整されます。
- 無彩色 (ニュートラルグレイ) の個所を選んでも、白色の個所を選んだときと同等の調整結果になります。

表紙 / 目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



明るさを調整する

画像の明るさを -2.0 ~ +2.0 (数値入力では 0.01 ステップ) の範囲で調整することができます。

1 【明るさ (RAW)】 ボタンを押す (p.1-2)

→ 【明るさ調整】 画面が表示されます。

● 【調整】 メニュー ▶ 【明るさ調整 (RAW)】 を選んで表示することもできます。

2 画像を見ながら調整する



3 【閉じる】 ボタンを押す

初期設定とは別の色空間を設定する

RAW 画像を変換／別画像として保存 (p.1-18) した RGB 画像 (JPEG 画像、TIFF 画像) の色空間は、環境設定の【標準作業用色空間】 (p.1-26) で設定された色空間が適用されます。初期設定とは違った色空間を設定するときは、個別に画像の色空間を設定します。

【調整】 メニュー ▶ 【作業用色空間】 ▶ 設定する色空間の項目を選ぶ

→ 選んだ色空間が設定されます。

! RGB 画像 (JPEG 画像、TIFF 画像) でも RAW 画像と同じように色空間を変更することができます。ただし、RGB 画像 (JPEG 画像、TIFF 画像) は、RAW 画像のような自由度はありません。そのため、Adobe RGB に設定して撮影した JPEG 画像の色空間を、Adobe RGB よりも狭い色域の sRGB に変更したときなどは、画像の色は正しく変更されますが、sRGB に設定して撮影した JPEG 画像を、sRGB よりも広い色域を持つ Adobe RGB や Wide Gamut RGB などに設定したときは、色域を広げることができないため画像の色は正しくなりません。

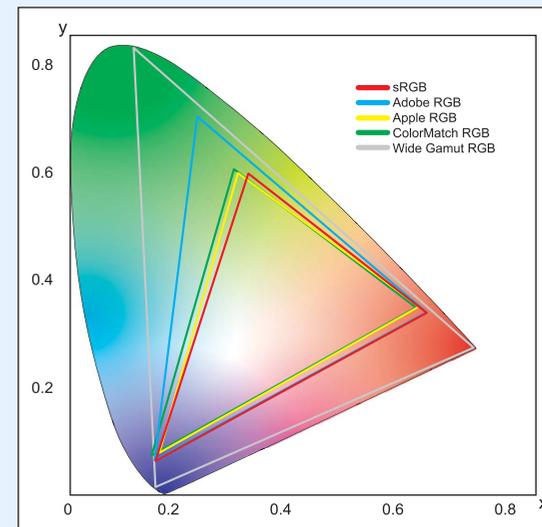


● 色空間とは色の再現領域 (色域特性) を示したもので、Digital Photo Professional では、次の 5 種類の色空間に対応しています。

- sRGB** : Windows の標準色空間です。また、モニター、デジタルカメラ、スキャナーなどの標準色空間として広く採用されています。
- Adobe RGB** : sRGB よりも広域な色空間で、主に商用印刷などの業務用途で採用されています。
- Apple RGB** : Macintosh の標準色空間です。sRGB よりも若干広域な色空間です。
- ColorMatch RGB** : sRGB よりも若干広域な色空間で、主に商用印刷などの業務用途で採用されています。
- Wide Gamut RGB** : Adobe RGB よりもさらに広域な色空間です。

● 各色空間の色域は、以下の色度図を参考にしてください。

Digital Photo Professional が対応している色空間の色度図

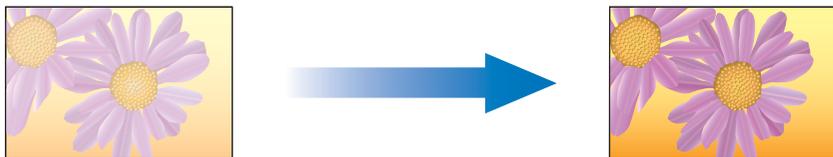


	ガンマ値	白色点 (色温度)
sRGB	2.2	6500K (D65)
Adobe RGB	2.2	6500K (D65)
Apple RGB	1.8	6500K (D65)
ColorMatch RGB	1.8	5000K (D50)
Wide Gamut RGB	2.2	5000K (D50)



RGB 画像調整機能で画像を編集する

RAW 画像、RGB 画像（JPEG 画像、TIFF 画像）に、各種の編集を行うことができます。なお、RGB 画像調整機能で編集を行うと、編集にともない多少なりとも画像が劣化します。RGB 画像調整機能を使うときは、編集にともなう画質の変化を確認しながら編集を行ってください。



1 画像を選ぶ

2 画像を編集する

- 編集内容は、コピーして別の画像にペーストし、適用することもできます。(p.1-15)
- 編集した画像を、最後に保存した状態や撮影時の状態に戻すことができます。(p.1-17)

3 編集内容を画像に保存する (p.1-17)

- 編集した RAW 画像を、RGB 画像（JPEG 画像、TIFF 画像）に変換して保存することもできます。(p.1-18)
- 編集した RGB 画像（JPEG 画像、TIFF 画像）を、別画像として保存することもできます。(p.1-18)

! 編集内容を画像に保存する前に Digital Photo Professional を終了すると、画像に行った編集内容は保持されません。必ず、編集内容を画像に保存 (p.1-17) してから終了してください。

- 複数の画像を選んでいるときは、選んだすべての画像に編集内容が適用されます。
- 編集内容は、画像とは別の単独ファイルとして保存することができます。(p.1-15)
- 編集した画像は、画像編集用ソフトウェアに転送することができます。(p.1-21)
- RAW 画像の編集は、編集にともなう画像の劣化がほとんどおこらない RAW 画像調整機能 (p.1-7 ~ p.1-10) で編集することをおすすめします。RGB 画像調整機能にも同様の機能がありますが、編集にともない多少なりとも画像が劣化します。そのため、RAW 画像調整機能だけでは編集が足りないときに、追加して RGB 画像調整機能を使うことで、画像の劣化を最小限に抑えた効率的な RAW 画像編集を行うことができます。
- Digital Photo Professional で行った編集内容は、画像を直接編集しているのではなく、仮想的に編集内容 (レシピ) (p.1-15) を適用して画像を表示しています。そのため、編集した画像を撮影時の状態や、最後に保存した状態に戻す (p.1-17) こともでき、何度でも編集作業をやり直すことができます。なお、編集内容にそって直接編集した画像を作成するときは、編集した画像とは別の画像に変換/保存します。(p.1-18) ただし、この手順で作成した画像は、画像を直接編集しているため、編集前の状態に戻すことはできません。

トーンカーブ自動調整 (トーンカーブアシスト)

画像のトーンカーブ (p.2-9) を自動的に調整して、標準的な画像の明るさ、色に調整することができます。

【調整】メニュー ▶ 【トーンカーブアシスト】を選ぶ

→ 画像が調整されます。

! 画像によっては、標準的な明るさや色に調整されないことがあります。そのときは、トーンカーブ調整機能 (p.2-9) で画像を調整してください。

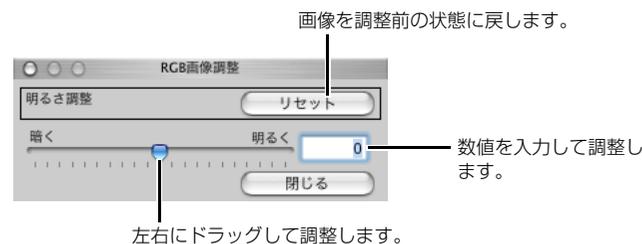
明るさを調整する

画像の明るさを -100 ~ +100 (数値入力では 1 ステップ) の範囲で調整することができます。

1 【調整】メニュー ▶ 【明るさ調整】を選ぶ

→ 【明るさ調整】画面が表示されます。

2 画像を見ながら調整する



3 【閉じる】ボタンを押す

表紙/目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



トリミング機能で画像を切り抜く

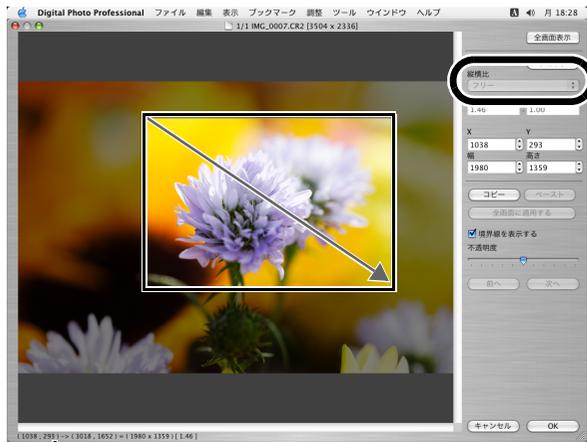
画像を任意の範囲で切り抜くこと（トリミング）ができます。

1 【ツール】メニュー▶【トリミングツールを起動】を選ぶ

→ トリミング画面が表示されます。

2 画像を切り抜く

- 【縦横比】 リストボックスから任意の比率を選び、図のように切り抜く範囲をドラッグします。



カーソルの座標位置を表示します。
画像を切り抜いたときは、切り抜いた範囲の左上、右下のXY座標、幅、高さ、アスペクト比を表示します。

- 切り抜いた範囲内にカーソルを移動すると、【**✂**】が【**⦿**】に変わります。ドラッグして切り抜いた範囲を移動することができます。
- 切り抜いた範囲の四隅にカーソルを移動すると、【**✂**】が【**⊕**】に変わります。ドラッグして切り抜いた範囲の大きさを変更することができます。
- 【縦横比】 リストボックスで【フリー】を選んだときは、切り抜いた範囲の四辺にカーソルを移動すると、【**⬇**】または、【**↔**】に変わります。ドラッグして切り抜いた範囲の大きさを変更することができます。

- ⚠ ● 切り抜いた画像は、切り抜いた範囲の情報が画像に保存されるだけで実際に画像は切り抜かれません。切り抜いた画像は、別画像として保存 (p.1-18) することで、切り抜かれた画像になります。
- 切り抜いた範囲の情報は、レシピとして別の画像に適用することはできません。【コピー】ボタンと【ペースト】ボタンを使って、個別に切り抜いた範囲を別の画像に適用してください。
- 切り抜いた範囲は、トリミング画面以外の画面には表示されません。

全画面表示にします。元の画面に戻すときは、再度ボタンを押します。
全画面表示／通常画面表示の切り換えは、キーボードの〈**⌘**〉+〈**F11**〉キーを押します。



切り抜く範囲の縦横比を選びます。

切り抜いた範囲の左上の座標を表示します。また、任意の数値を入力して、座標を設定することもできます。

切り抜いた範囲をコピーします。

切り抜いた範囲に境界線を表示します。

左右にドラッグして切り抜き範囲外の不透明度を設定します。

前の画像を表示します。*

設定内容をすべて取り消して画面を閉じます。

* 複数の画像を選んでトリミング画面を表示したときに動作します。

【縦横比】 リストボックスで選んだ比率が表示されます。また、【縦横比】 リストボックスで【カスタム】を選んだときは任意の比率を入力することができます。

切り抜いた範囲の大きさを表示します。また、任意の数値を入力して、大きさを設定することもできます。

別の画像でコピーした切り抜き範囲を、表示している画像に適用します。*

コピーした切り抜き範囲を、トリミング画面を起動したときに選んでいたすべての画像に適用します。

次の画像を表示します。*

設定内容を画像に適用して画面を閉じます。

3 【OK】ボタンを押す

4 切り抜いた画像を別画像として保存する (p.1-18)

→ 切り抜いた画像が、別画像として保存されます。

- 【縦横比】の設定、全画面表示／通常画面表示の切り換えは、画像上で〈control〉+クリックして表示されるメニューで行うこともできます。
- ショートカットキーについては、「ショートカットキー一覧」(p.5-3)を参照してください。

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



コピースタンプ機能で画像を修正する

リペア機能やコピースタンプ機能を使って、画像を修正することができます。

リペア機能で画像を修正する

画像上の不要な点（消去したい点）を、周囲になじむよう修正することができます。

1 【ツール】メニュー ▶ 【コピースタンプツールを起動】 を選ぶ

→ コピースタンプ画面が表示されます。

2 【100%表示】 ボタンを押す

→ 画像が 100%表示になります。



3 修正したい箇所を表示する

● 画像上でドラッグ操作を行い、修正したい箇所を表示します。

4 【修復（明）】 ボタンまたは、【修復（暗）】 ボタンを押す

● 不要な点（消去したい点）が明色系のときは【修復（明）】 ボタンを押し、暗色系のときは【修復（暗）】 ボタンを押します。

→ 画像上にカーソルを移動すると、修正範囲が【○】で表示されます。

● 修正した内容は、レシピとして別の画像に適用することはできません。【コピー】 ボタンと【ペースト】 ボタンを使って、個別に修正内容を別の画像に適用してください。

● 修正した内容は、コピースタンプ画面以外の画面には表示されません。

画像を 100%（ピクセル等倍）で表示します。再度ボタンを押すと画面の大きさに合わせた表示になります。

【修復（明）】 ボタン

修正範囲内の孤立した明るい色の点を、周囲になじむよう修正します。

スライダーを左右にドラッグしたり、【▲】 / 【▼】 ボタンを押して、修正範囲を設定します。また、任意の数値を入力して、大きさを設定することもできます。

修正前の状態に戻します。1 つ前の状態に戻します。

設定した修正内容をコピーします。

前の画像を表示します。*



全画面表示にします。元の画面に戻るときは、再度ボタンを押します。全画面表示 / 通常画面表示の切り換えは、キーボードの〈F11〉 + 〈F11〉 キーを押します。

【修復（暗）】 ボタン

修正範囲内の孤立した暗い色の点を、周囲になじむよう修正します。

最後の修正状態に戻します。1 つ先の状態に戻します。

コピーした修正内容を、画像に適用します。

次の画像を表示します。*

設定内容をすべて取り消して画面を閉じます。

設定内容を画像に適用して画面を閉じます。

* 複数の画像を選んでコピースタンプ画面を表示したときに動作します。

5 画像上の不要な点を修正範囲の【○】内に入れてクリックする

→ 修正範囲内の不要な点が修正されます。

- 修正できないときは、【⊗】が表示されます。
- 続けて他の箇所をクリックすると、選んだ修正範囲内の不要な点が修正されます。
- 別の箇所を修正するときは、【修復（明）】 ボタンまたは、【修復（暗）】 ボタンを押してリペア機能を解除し、再度、手順 3 からの操作を行ってください。

6 【OK】 ボタンを押す

● 手順 2 の操作は、修正したい箇所をダブルクリックして、100%表示にすることもできます。また、再度ダブルクリックすると元の表示に戻ります。

● 複数の箇所を修正したときは、キーボードの〈B〉を押すと 1 つ前、〈F〉を押すと 1 つ先の修正箇所が表示されるので、修正内容の再確認を行うことができます。

● ショートカットキーについては、「ショートカットキー一覧」(p.5-3) を参照してください。

表紙 / 目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



コピースタンプ機能で画像を修正する

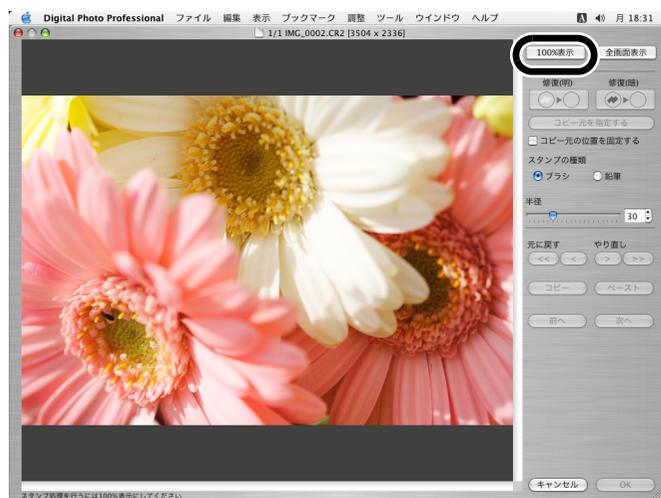
画像上の不要な個所に、別の部分からコピーした画像をペーストして修正することができます。

1 【ツール】メニュー ▶ 【コピースタンプツールを起動】 を選ぶ

→ コピースタンプ画面が表示されます。

2 【100%表示】 ボタンを押す

→ 画像が 100%表示になります。



3 修正したい個所を表示する

● 画像上でドラッグ操作を行い、修正したい個所を表示します。

4 コピーする部分を指定する

- 【コピー元を指定する】 ボタンを押して、コピーする部分をクリックします。
- コピーする部分を変更するときは、再度上記の操作を行ってください。

❗ ● 修正した内容は、レシピとして別の画像に適用することはできません。【コピー】 ボタンと【ペースト】 ボタンを使って、個別に修正内容を別の画像に適用してください。

● 修正した内容は、コピースタンプ画面以外の画面には表示されません。

画像を 100% (ピクセル等倍) で表示します。再度ボタンを押すと画面の大きさに合わせた表示になります。

コピー元の位置を固定します。

スタンプの種類を選ぶことができます。【ブラシ】 を選ぶと、ペーストした画像の境界線がブラシ状に処理されます。【鉛筆】 を選ぶと、ペーストした画像の境界線がはっきりと処理されます。

修正前の状態に戻します。1 つ前の状態に戻します。

設定した修正内容をコピーします。

前の画像を表示します。*

全画面表示にします。元の画面に戻すときは、再度ボタンを押します。全画面表示 / 通常画面表示の切り換えは、キーボードの〈⌘〉 + 〈F11〉 キーを押します。

コピーする部分を指定します。【100%表示】 にしたときのみ、有効になります。

スライダーを左右にドラッグしたり、【▲】 / 【▼】 ボタンを押して、ペーストする画像の大きさ (半径) を設定します。また、任意の数値を入力して、大きさを設定することもできます。

最後の修正状態に戻します。1 つ先の状態に戻します。

コピーした修正内容を、画像に適用します。

次の画像を表示します。*

設定内容をすべて取り消して画面を閉じます。

設定内容を画像に適用して画面を閉じます。

* 複数の画像を選んでコピースタンプ画面を表示したときに動作します。

5 画像を修正する

- 画像上の修正したい個所をクリックまたはドラッグします。画面上的【+】がコピー元、【○】がコピー先になります。
- コピー元の画像がドラッグした位置にペーストされます。

6 【OK】 ボタンを押す

- 手順 2 の操作は、修正したい個所をダブルクリックして、100%表示にすることもできます。また、再度ダブルクリックすると元の表示に戻ります。
- 手順 4 の操作は、〈option〉 キーを押しながらコピーする部分をクリックして指定することもできます。
- 複数の個所を修正したときは、キーボードの〈B〉を押すと 1 つ前、〈F〉を押すと 1 つ先の修正箇所が表示されるので、修正内容の再確認を行うことができます。
- ショートカットキーについては、「ショートカットキー一覧」(p.5-3) を参照してください。

表紙 / 目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

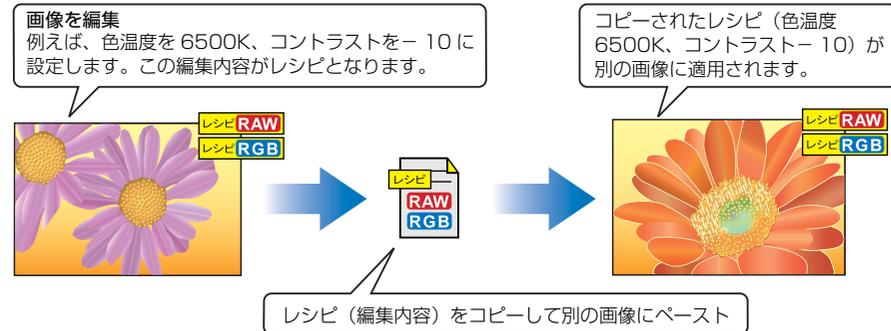
索引



編集内容（レシピ）を使用する

画像に適用した編集内容は、コピーして別の画像に適用したり、画像とは別の単独ファイルとして保存／読み込んで別の画像に適用することができます。

Digital Photo Professional では、この編集内容を「レシピ」という名称のファイルとして扱うことができます。

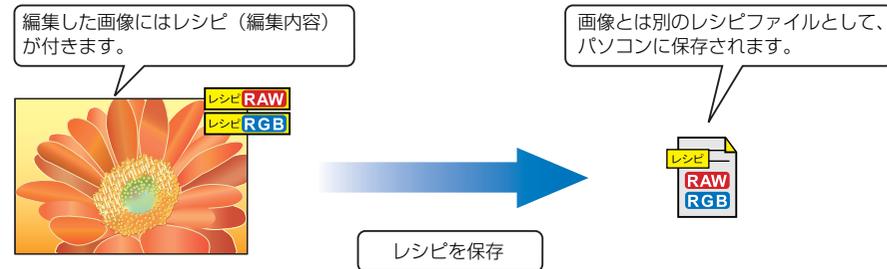


レシピRAW : RAW 画像調整のレシピ（編集内容）を示しています。

レシピRGB : RGB 画像調整のレシピ（編集内容）を示しています。

レシピを保存する

編集した画像のレシピを、画像とは別の単独ファイルとして保存することができます。



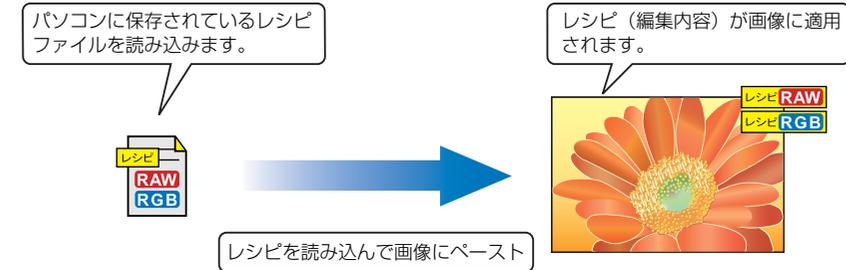
1 画像を選び、【編集】メニュー ▶ 【レシピをファイルに保存】を選ぶ
→ 【保存】画面が表示されます。

2 保存先を選び、ファイル名を入力して【保存】ボタンを押す

- ❗ 【レシピをファイルに保存】では、レシピ（編集内容）のみを画像とは別の単独ファイルとして保存します。編集内容を画像に適用して保存するときは、「編集内容を画像に保存する」（p.1-17）を参照してください。
- 画像回転（p.1-2）、切り抜き（トリミング）（p.1-12）、画像修正（リペア、コピースタンプ）（p.1-13、p.1-14）は、レシピに含まれません。

レシピを読み込んでペーストする

パソコンに保存されているレシピファイルを読み込んで、画像に適用することができます。

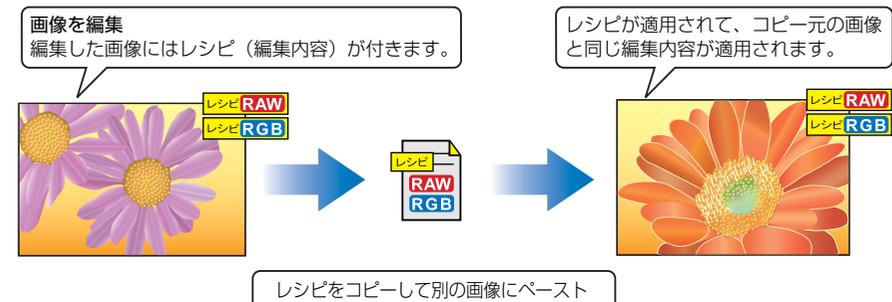


1 レシピを適用する画像を選び、【編集】メニュー ▶ 【レシピをファイルから読み込んでペースト】を選ぶ
→ 【開く】画面が表示されます。

2 レシピを選んで【開く】ボタンを押す
→ レシピが画像に適用されます。

レシピをコピーして別の画像に適用する

編集した画像のレシピをコピーして、別の画像に適用することができます。



1 レシピをコピーする画像を選び、【編集】メニュー ▶ 【レシピをクリップボードにコピー】を選ぶ
→ レシピがコピーされます。

2 レシピを適用する画像を選び、【編集】メニュー ▶ 【レシピを選択画像にペースト】を選ぶ
→ レシピが画像に適用されます。

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

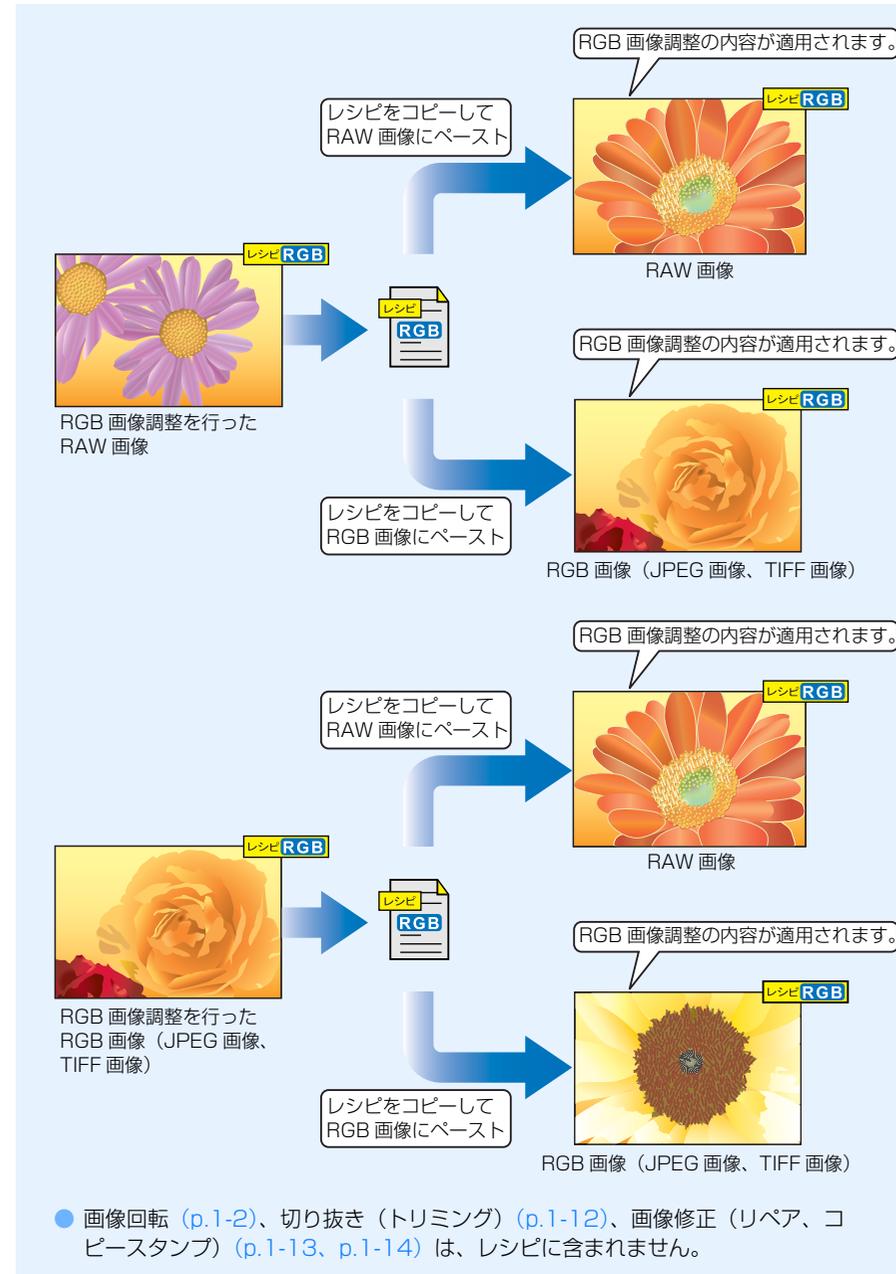
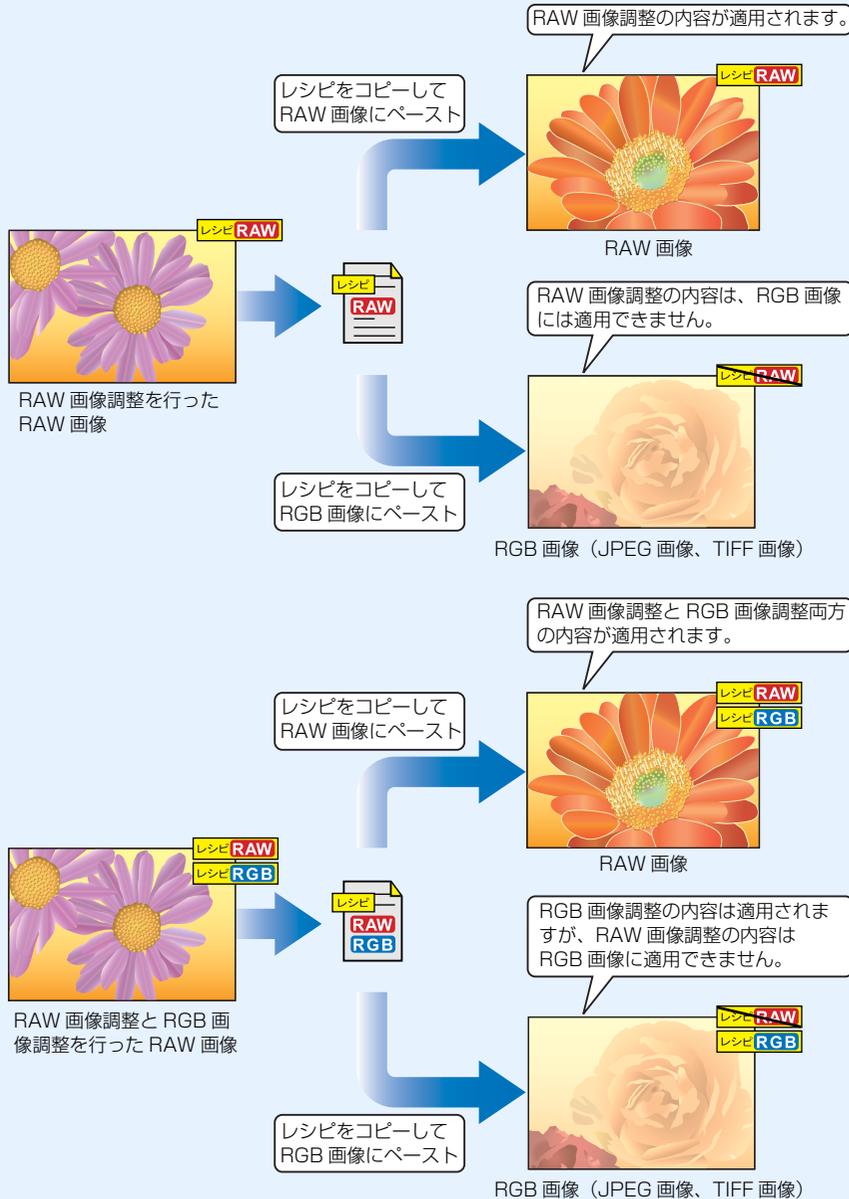
索引



! レシピをコピーして別の画像に適用したときは、画像の種類によって適用されるレシピは以下になります。

レシピRAW : RAW 画像調整のレシピ（編集内容）を示しています。

レシピRGB : RGB 画像調整のレシピ（編集内容）を示しています。



表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



編集内容を元の状態に戻す

画像に設定した編集内容をすべて取り消して、最後に保存した状態や撮影時の状態に戻すことができます。



最後に保存した状態に戻す

画像を選び、**【調整】メニュー ▶ 【最後に保存した状態に戻す】** を選ぶ

! 複数の画像を選んでいるときは、選んでいるすべての画像が最後に保存した状態に戻ります。

撮影時の状態に戻す

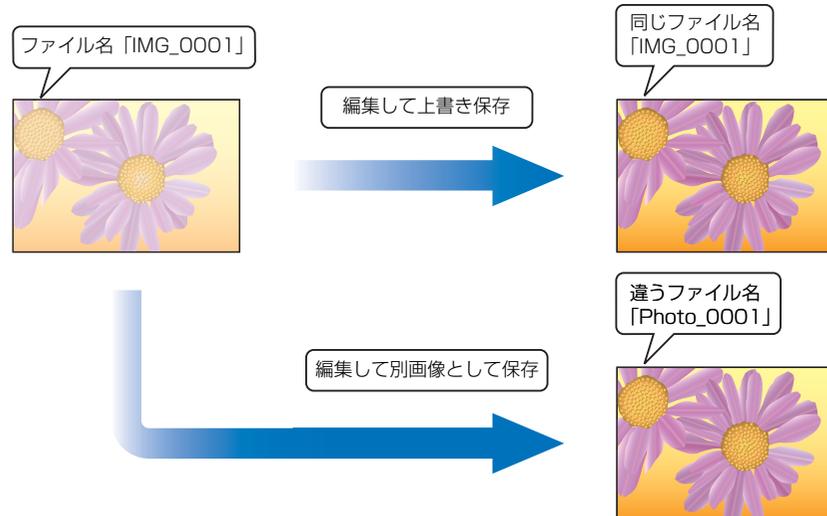
画像を選び、**【調整】メニュー ▶ 【撮影時の状態に戻す】** を選ぶ

! 複数の画像を選んでいるときは、選んでいるすべての画像が撮影時の状態に戻ります。

編集内容を画像に保存する

編集した内容（レシピ）を画像に保存することができます。

Digital Photo Professional で行った編集内容は、画像を直接編集しているのではなく、仮想的に編集内容（レシピ）（p.1-15）を適用して画像を表示しています。本ページの操作では、画像に編集内容（レシピ）を保存することはできませんが、画像を直接編集してはいけません。なお、編集内容にそって直接編集した画像を作成するときは、「編集した画像を変換／別画像として保存する」（p.1-18）を参照してください。



上書き保存する

画像を選び、**【ファイル】メニュー ▶ 【レシピを付加して保存】** を選ぶ

別画像として保存する

1 画像を選び、**【ファイル】メニュー ▶ 【レシピを付加して別名で保存】** を選ぶ

→ **【別名で保存】** 画面が表示されます。

2 保存先を選び、ファイル名を入力して **【保存】** ボタンを押す

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



編集した画像を変換／別画像として保存する

編集した RAW 画像に編集内容を適用して、RGB 画像（JPEG 画像、TIFF 画像）に変換／別画像として保存することができます。また、編集した RGB 画像に編集内容を適用して、別画像として保存することもできます。

● Digital Photo Professional で行った編集内容は、画像を直接編集しているのではなく、仮想的に編集内容（レシピ）（p.1-15）を適用して画像を表示しています。したがって、編集内容にそって直接編集した画像を作成するときは、本ページの操作で編集した画像とは別の画像に変換／保存してください。

1 枚の画像を変換／別画像として保存する

1 1 枚の画像を選び、【ファイル】メニュー▶【変換して保存】を選ぶ

→ 【変換して保存】画面が表示されます。

2 各項目を設定して【保存】ボタンを押す

→ 処理画面が表示され、保存が開始されます。

→ 終了すると、設定したフォルダに画像が保存され、処理画面に【終了】ボタンが表示されます。

3 【終了】ボタンを押す

保存する画像のファイル名を入力します。

ドライブやフォルダの内容を表示します。

保存する画像のファイル名を入力します。

場所： Photo

別名で保存： IMG_0001

ファイル形式

ファイルの種類 Exif-JPEG

画質 10

出力設定

出力解像度 350 dpi

ICCプロファイル埋め込み

画像サイズ設定

画像サイズを変更する

幅 3504 x 高さ 2336 単位 pixel

(3504 pixel) (2336 pixel)

縦横比を固定

保存する画像の種類を選びます。

画像の種類と保存後の拡張子は、次のようになります。

画像の種類	拡張子
Exif-JPEG	.JPG
Exif-TIFF 8bit	.TIF
TIFF 16bit	.TIF

保存する画像の大きさを変更するときにチェックします。

画像の幅を設定します。

画像の縦横比を固定するときにチェックします。

【ファイルの種類】リストボックスで【Exif-JPEG】を選んだときは、スライダーを左右にドラッグして画質（圧縮率）を1～10の範囲で設定します。数値が大きくなるほど高画質なJPEG画像になります。

保存する画像へICCプロファイルを埋め込むときにチェックします。

保存する画像の出力解像度を1～60,000dpiの範囲で設定します。

単位を選びます。

画像の高さを設定します。

キャンセル

保存

設定内容をすべて取り消して画面を閉じます。

画像を保存します。

! Apple RGB、ColorMatch RGB、Wide Gamut RGBの色空間を設定（p.1-10、p.1-26）した画像を保存したときは、ICCプロファイルのチェックを外しても、自動的にICCプロファイルが埋め込まれます。

- 編集しない画像を、別画像として保存することもできます。
- 【画像サイズ設定】は、【幅】または【高さ】で設定した大きい方の値を、画像の長辺に適用して画像サイズを変更します。
- トーンカーブを【リニア】（p.2-7）に設定したときは、【TIFF 16bit】を選んで保存します。
- 保存機能は単独で動作するため、保存中にメイン画面、セレクト編集画面、編集画面などでの操作を並行して行うことができます。

- JPEG 画像、TIFF 画像に埋め込まれる ICC プロファイルには、環境設定（p.1-26）または、個別に設定した色空間（p.1-10）が記載されます。
- ICC プロファイルとは、International Color Consortium（国際カラーコンソーシアム）が認定した各機器の色特性や色空間などの色に関する情報が記載されたファイルです。多くのカラーマネージメントシステムは、この ICC プロファイルを使うことで、機器間の色の違いを最小限に抑えることができます。

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



複数の画像を一括して変換／別画像として保存する（バッチ処理）

1 画像を編集する (p.1-7～p.1-14)

2 一括変換／保存する画像を選ぶ

3 【一括保存】 ボタンを押す (p.1-2)

→ 【一括保存設定】 画面が表示されます。

● 【ファイル】 メニュー ▶ 【一括保存】 を選んで表示することもできます。

4 各項目を設定する

5 【実行】 ボタンを押す

→ 処理画面が表示され、保存が開始されます。

→ 終了すると、設定したフォルダに画像が保存され、処理画面に【終了】 ボタンが表示されます。

6 【終了】 ボタンを押す

保存する画像の種類を選びます。
画像の種類と保存後の拡張子は、次のようになります。

画像の種類	拡張子
Exif-JPEG	.JPG
Exif-TIFF 8bit	.TIF
TIFF 16bit	.TIF

一括保存する画像のファイル名が表示されます。

保存する画像の出力解像度を 1～60,000dpi の範囲で設定します。

保存する画像の大きさを変更するときにチェックします。

画像の幅を設定します。
画像の縦横比を固定するときにチェックします。

ファイル名を変更しないときに選びます。

ファイル名を変更するときに選びます。

一括変換／保存した画像を画像編集用ソフトウェアに転送します。(p.1-21)

画像を選んでいない状態で【一括保存】 ボタンを押したときに表示され、変換／保存する画像を RAW 画像に限定することができます。

画像を保存するフォルダを指定します。
【参照】 ボタンの横には、設定したフォルダ名が表示されます。

【ファイルの種類】 リストボックスで【Exif-JPEG】を選んだときは、スライダーを左右にドラッグして画質（圧縮率）を 1～10 の範囲で設定します。数値が大きくなるほど高画質になります。

保存する画像へ ICC プロファイルを埋め込むときにチェックします。

画像の高さを設定します。

単位を選びます。

【新しいファイル名】を選んだときの文字列と連番を設定します。
【例】の箇所には設定内容の適用例が表示されます。

設定した連番を記憶することができます。

一括保存が開始されます。

設定内容をすべて取り消して画面を閉じます。

● 【ファイル名】の【新しいファイル名】を選んだときは、【連番】を設定しないと一括保存はできません。

● Apple RGB、ColorMatch RGB、Wide Gamut RGB の色空間を設定 (p.1-10、p.1-26) した画像を保存したときは、ICC プロファイルのチェックを外しても、自動的に ICC プロファイルが埋め込まれます。

● 画像を選んでいない状態で手順 3 の操作を行ったときは、メイン画面またはセレクト編集画面で表示しているすべての画像が一括保存の対象になります。

● 編集しない複数の画像を別画像として、一括保存することもできます。

● 【画像サイズ設定】は、【幅】または【高さ】で設定した大きい方の値を、画像の長辺に適用して画像サイズを変更します。

● 保存機能は単独で動作するため、保存中にメイン画面、セレクト編集画面、編集画面などでの操作を並行して行うことができます。

● JPEG 画像、TIFF 画像に埋め込まれる ICC プロファイルには、環境設定 (p.1-26) または、個別に設定した色空間 (p.1-10) が記載されます。

● ICC プロファイルとは、International Color Consortium（国際カラーコンソーシアム）が認定した各機器の色特性や色空間などの色に関する情報が記載されたファイルです。多くのカラーマネージメントシステムは、この ICC プロファイルを使うことで、機器間の色の違いを最小限に抑えることができます。



ファイル名を一括して変更する

画像のファイル名を一括して変更することができます。

1 ファイル名を変更する画像を選ぶ

2 【ツール】メニュー ▶ 【リネームツールを起動】を選ぶ

→ リネームツール画面が表示されます。

3 各項目を設定して【実行】ボタンを押す

→ 処理が開始され、ファイル名が変更されます。

各項目からファイル名に設定する項目を選びます。

拡張子を選びます。

連番を設定するときは、開始番号と必要な桁数の数字を入力します。

設定した連番を記憶することができます。

撮影日時の形式を選びます。

区切り文字（アンダーバー）を入れます。

変更後のファイル名が表示されます。

ファイルの並び順を選びます。

同時記録されたRAW画像とJPEG画像のファイル名を同名（拡張子は除く）にします。

画像をコピーして、ファイル名を変更します。

【コピーしてリネーム】をチェックしたときの、コピーした画像の保存先を指定します。

元のファイル名が表示されます。

キャンセル

実行

設定内容をすべて取り消して画面を閉じます。

❗ **【変更後のファイル名】** に赤字のファイル名が表示されたときは、ファイル名が重複しています。1 つでもファイル名が重複していると変更はできません。重複しないよう、各種の設定を変更してください。

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



画像編集用ソフトウェアに画像を転送する

1 枚の画像を Photoshop に転送する

1 枚の画像を Adobe Photoshop に転送することができます。



1 枚の画像を
Photoshop へ転送

1 Photoshop に転送する画像を選ぶ

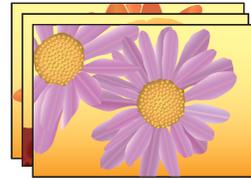
2 【ツール】メニュー ▶ 【Photoshop へ転送】を選ぶ

- Photoshop が起動し、転送された画像が表示されます。
- RAW 画像は、TIFF 16bit 画像に変換されて転送されます。

- ! 画像転送を行うには、市販の Adobe Photoshop が必要です。
- 対応する Photoshop のバージョンは、CS2、CS、7.0 です。
- 1 度に転送できる画像は 1 枚です。複数の画像を同時に転送することはできません。
- 画像を転送したときは、自動的に TIFF 16bit 画像に変換され、ICC プロファイルが付加されます。ICC プロファイルには、環境設定 (p.1-26) または、個別に設定した作業用色空間 (p.1-10) の情報が記載され、適切な色情報を Photoshop に伝達できます。

複数の画像を画像編集用ソフトウェアに転送する

複数の画像を画像編集用ソフトウェアに転送することができます。ここでは、Adobe Photoshop CS を例にしています。



複数の画像を画像編集用
ソフトウェアへ転送

1 一括変換／保存の設定をする

- 「複数の画像を一括して変換／別画像として保存する (バッチ処理)」 (p.1-19) の手順 1 ~ 4 までの操作を行います。

2 【画像転送設定】の【参照】ボタンを押す

- 【開く】画面が表示されます。



3 画像を転送する画像編集用ソフトウェア (Photoshop CS) を選ぶ

- Photoshop CS をインストールしたドライブ ▶ 【アプリケーション】フォルダ ▶ 【Adobe Photoshop CS】フォルダ ▶ 【Adobe Photoshop CS】の順に選び、【開く】ボタンを押します。
- 【開く】画面が閉じ、【一括保存設定】画面の【画像転送設定】に Photoshop CS が設定されます。

4 【ソフトウェアを使用して画像を開く】をチェックする



5 【実行】ボタンを押す

- 処理画面が表示され、一括保存が開始されます。
- 一括保存が終了すると Photoshop CS が起動して、転送した画像が表示されます。

- ! 画像転送を行うには、Adobe Photoshop CS など市販の画像編集用ソフトウェアが必要です。

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

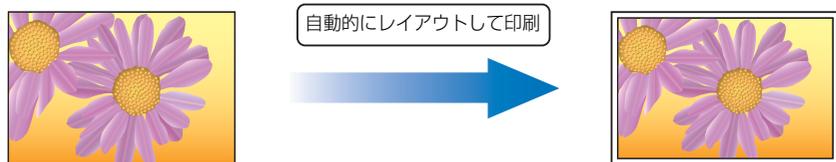
索引



画像を印刷する

1 枚印刷（自動設定印刷）

1 枚の用紙に 1 つの画像を自動的にレイアウトして印刷することができます。



1 画像を選び、【ファイル】メニュー ▶ 【プリント】を選ぶ

→ 【プリント】画面が表示されます。

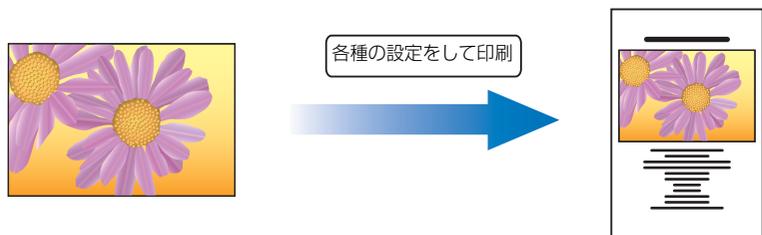
2 各種の設定を行い【プリント】ボタンを押す

→ 印刷が開始されます。

- 【ファイル】メニュー ▶ 【ページ設定】を選ぶと、用紙サイズなどを設定することができます。
- 印刷に使用するプリンターのプロファイルを設定することができます。(p.1-26)
- CMYK シミュレーションを設定 (p.1-26) したときは、設定した【CMYK シミュレーション用プロファイル】の色味で印刷されます。

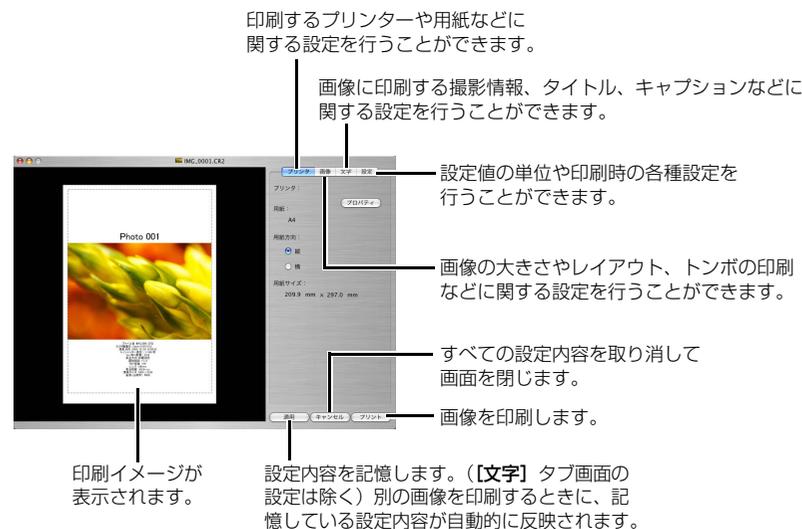
1 枚印刷（詳細指定印刷）

各種の設定を行い、1 枚の用紙に 1 つの画像を自由にレイアウトして印刷することができます。



1 1 枚の画像を選び、【ファイル】メニュー ▶ 【詳細指定印刷】を選ぶ

2 各項目を設定する



- 画像をクリックしてドラッグ操作を行うと、画像の位置を移動することができます。画像をクリックして、画像の四隅にカーソルを移動すると【⇩】に変わり、画像の四辺にカーソルを移動すると【⇅】または【↔】に変わり、ドラッグ操作で画像の大きさを変更することができます。

3 【プリント】ボタンを押す

→ 印刷が開始されます。

⚠ 1 度に印刷できる画像は 1 枚です。

- 印刷に使用するプリンターのプロファイルを設定することができます。(p.1-26)
- CMYK シミュレーションを設定 (p.1-26) したときは、設定した【CMYK シミュレーション用プロファイル】の色味で印刷されます。

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

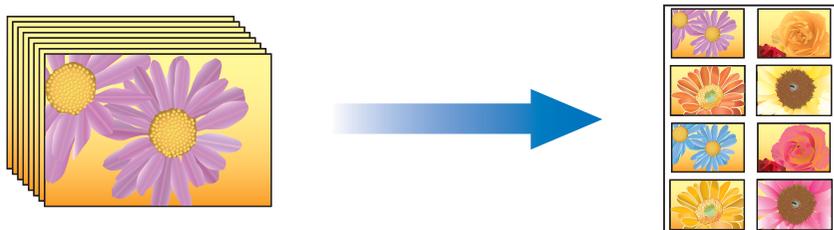
こんなときは

ショートカットキー一覧

索引

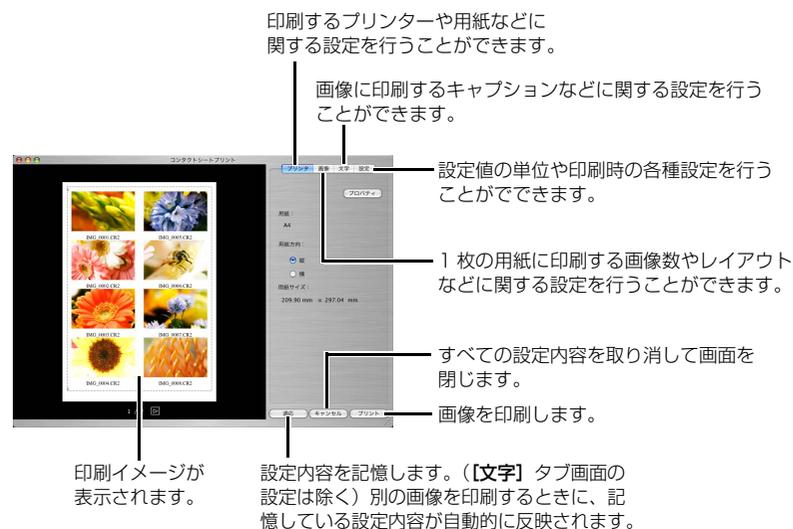
コンタクトシート印刷

各種の設定を行い、複数の画像をならべて印刷することができます。



1 画像を選び、【ファイル】メニュー▶【コンタクトシート印刷】を選ぶ

2 各項目を設定する



3 【プリント】ボタンを押す

→ 印刷が開始されます。

- 印刷に使用するプリンターのプロファイルを設定することができます。(p.1-26)
- CMYK シミュレーションを設定 (p.1-26) したときは、設定した【CMYK シミュレーション用プロファイル】の色味で印刷されます。

キヤノン製 PIXUS / BJ プリンターで印刷する

キヤノン製 PIXUS / BJ プリンター専用の印刷ソフトウェアである、Easy-PhotoPrint または、Easy-PhotoPrint Pro に対応した PIXUS / BJ プリンターをお持ちの方は、Digital Photo Professional と連携した印刷を行うことができます。

なお、連携した印刷を行うには、事前に Easy-PhotoPrint ではバージョン 2.1 以降、Easy-PhotoPrint Pro ではバージョン 1.0 以降をパソコンにインストールしてください。

画像を選び、【ファイル】メニュー▶【プラグイン印刷】▶【Easy-PhotoPrint で印刷】または、【Easy-PhotoPrint Pro で印刷】を選ぶ

- Easy-PhotoPrint または、Easy-PhotoPrint Pro が起動します。
- Easy-PhotoPrint では、【Easy-PhotoPrint】メニュー▶【環境設定】を選び、【環境設定】画面の【自動画像補正処理を有効にする】のチェックを外します。
- 画面の表示にしたがって操作し、印刷します。

- ⚠ Easy-PhotoPrint との連携印刷では、Easy-PhotoPrint の【自動画像補正処理を有効にする】が有効になっていると忠実な色味で印刷されません。上記の操作手順にしたがって【自動画像補正処理を有効にする】のチェックを外して無効にしてください。
- 設定した出力解像度 (p.1-25)、切り抜き (トリミング) (p.1-12)、CMYK シミュレーション (p.1-26) は適用されません。
- 1 度に印刷できる画像は最大で 1000 枚です。
- Easy-PhotoPrint Pro がパソコンにインストールされていないときは、連携メニューに【Easy-PhotoPrint Pro で印刷】は表示されません。

- 印刷する時のマッチング形式を設定することができます。(p.1-26)
- Digital Photo Professional と Easy-PhotoPrint / Easy-PhotoPrint Pro の連携印刷では、画像の色情報が正確に伝達されるため、忠実な色味で印刷することができます。特に、Adobe RGB の色空間に設定 (p.1-10、p.1-26) された画像を Digital Photo Professional で編集し、Easy-PhotoPrint / Easy-PhotoPrint Pro で印刷したときは、PIXUS / BJ プリンターの色再現領域が十分に活用されて、sRGB の色空間で撮影された画像よりも、色域の広い画像を印刷することができます。

キヤノン製大判プリンターで印刷する

キヤノン製の大判プリンター imagePROGRAF iP F5000 をお持ちの方は、Digital Photo Professional と連携した印刷を行うことができます。

なお、連携した印刷を行うには、事前に imagePROGRAF Print Plug-In バージョン 2.0 以降をパソコンにインストールしてください。

画像を選び、【ファイル】メニュー▶【プラグイン印刷】▶ 【L-Plug-In で印刷】を選ぶ

→ imagePROGRAF Print Plug-In が起動します。

● 画面の表示にしたがって操作し、印刷します。

❗ ● 設定した出力解像度 (p.1-25)、CMYK シミュレーション (p.1-26) は適用されません。

● 1 度に印刷できる画像は 1 枚です。

● imagePROGRAF Print Plug-In がパソコンにインストールされていないときは、連携メニューに【L-Plug-In で印刷】は表示されません。

📄 ● 印刷する時のマッチング方法を設定することができます。(p.1-26)

● Digital Photo Professional と imagePROGRAF Print Plug-In の連携印刷では、画像の色情報が正確に伝達されるため、忠実な色味で印刷することができます。特に、Adobe RGB の色空間に設定 (p.1-10、p.1-26) された画像を Digital Photo Professional で編集し、imagePROGRAF Print Plug-In で印刷したときは、大判プリンター imagePROGRAF iP F5000 の色再現領域が十分に活用されて、sRGB の色空間で撮影された画像よりも、色域の広い画像を印刷することができます。

リモート撮影機能との連携

Digital Photo Professional は、カメラとの通信用ソフトウェア「EOS Utility」と連携して、リモート撮影した画像をリアルタイムで Digital Photo Professional の画面に表示することができます。なお、EOS Utility の詳しい操作方法については、「EOS Utility 使用説明書」を参照してください。

1 Digital Photo Professional を起動する (p.1-2)

2 【ツール】メニュー▶【EOS Utility を起動】を選ぶ

→ 【EOS Utility】が起動します。

3 カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続し、カメラの電源スイッチを〈ON〉にする

4 【EOS Utility】の【カメラの設定／リモート撮影】を押す

→ カメラ設定画面が表示されます。

5 カメラ設定画面の【】を押す

→ 撮影が行われます。

→ 撮影した画像はパソコンに取り込まれ、Digital Photo Professional のメイン画面に表示されます。

● Digital Photo Professional のメイン画面に画像が表示されないときは、【ツール】メニュー▶【EOS Utility とフォルダを同期】を選ぶと、EOS Utility が画像を保存するフォルダと Digital Photo Professional が表示するフォルダが同期するようになります。

📄 EOS Utility と連携したときに表示する画面を、セレクト編集画面に変更することができます。(p.1-25)

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



環境設定

Digital Photo Professional の各種内容を設定することができます。

1 【Digital Photo Professional】メニュー ▶ 【環境設定】を選ぶ

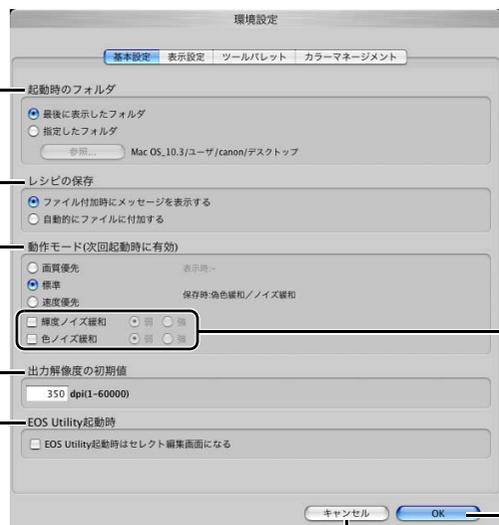
→ 【環境設定】画面が表示されます。

2 タブを選び、各項目を設定して【OK】ボタンを押す

→ 設定内容が適用され、【環境設定】画面が閉じます。

Digital Photo Professional 終了時または、メイン画面に表示している画像を他のフォルダの画像に切り換えたとき、自動的に編集内容を画像に適用して保存するか、確認画面を表示するかを選びます。

Digital Photo Professional 起動時に、前回開いていたフォルダ内容を表示するか、常に指定したフォルダ内容を表示するかを選びます。



動作モードで【画質優先】、【標準】を選んだときは、【輝度ノイズ緩和】、【色ノイズ緩和】を設定することができます。

チェックすると、EOS Utility を起動したときに、自動的にセレクト編集画面が表示されます。

設定内容をすべて取り消して画面を閉じます。

RAW 画像を JPEG 画像、TIFF 画像に変換して保存するときの、出力解像度の初期設定値を 1 ~ 60,000dpi の範囲で設定します。

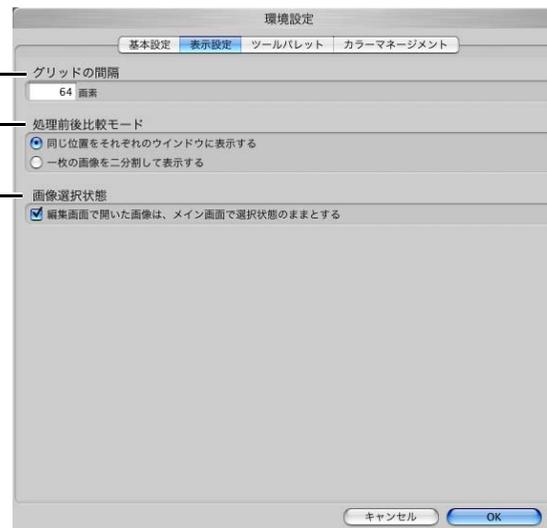
画像を表示したときの画質や、RAW 画像を RGB 画像 (JPEG 画像、TIFF 画像) に変換したときの画質を設定することができます。

【画質優先】 : 画像の表示と変換/保存したときの両方でノイズ (偽色、輝度ノイズ、色ノイズ) 緩和処理を行うため、より忠実な画質になります。ただし、画像の表示や変換/保存には時間がかかります。

【標準】 : 画像の表示ではノイズ (偽色、輝度ノイズ、色ノイズ) 緩和処理を行わないため、【画質優先】に比べて画像の表示速度が向上します。変換/保存のときは【画質優先】同様、ノイズ緩和処理が行われます。

【速度優先】 : 画像の表示と変換/保存したときの両方でノイズ (偽色、輝度ノイズ、色ノイズ) 緩和処理を行わないため、画像の表示速度は【標準】と同じですが、変換/保存時の時間は【標準】に比べて向上します。

編集画面、セレクト編集画面でグリッド表示 (p.2-3) したときのグリッドの間隔を 8 ~ 256 画素の範囲で設定します。



チェックすると、編集画面で開いた画像がメイン画面で選択されたままになります。

編集画面、セレクト編集画面で、画像を編集前後比較表示 (p.2-3) にしたときの表示方法を選びます。

! 【ノイズ緩和処理設定】の【輝度ノイズ緩和】を【強】または【弱】に設定したときは、輝度信号に含まれるノイズ (ジャギーなどを含む) の緩和にともなって、画像によっては解像度が低下することもあります。また、【色ノイズ緩和】を【強】または【弱】に設定したときは、色信号に含まれるノイズの緩和にともなって、画像によっては色にじみがおこることもあります。

! 【ノイズ緩和処理設定】は、夜景を撮影した画像や、高 ISO 感度で撮影した画像のノイズを緩和するのに有効な機能です。設定結果を画面上で確認するときは、【動作モード】で【画質優先】を選びます。

輝度ノイズ : 高 ISO 感度で撮影した画像や、低 ISO 感度でも明るさ調整を行った画像に発生することのあるザラザラした感じのノイズです。また、斜め線などにはギザギザした感じのノイズとして発生することもあります。

色ノイズ : 高 ISO 感度で撮影した画像や、低 ISO 感度でもシャドー部に発生することのある色の付いたシミのようなノイズです。

表紙/目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

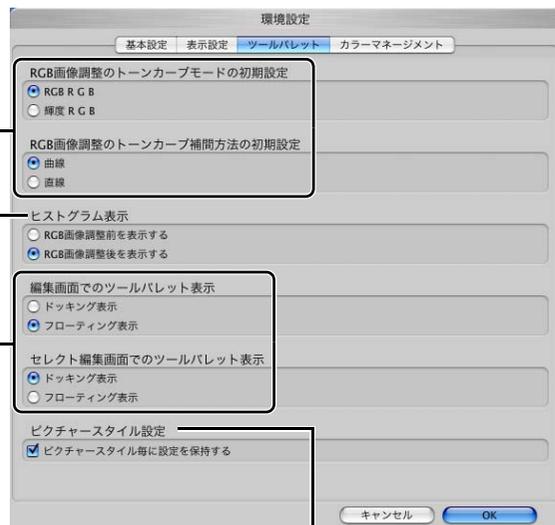
ショートカットキー一覧

索引



ツールパレットの【RGB 画像調整】タブ画面に表示されるヒストグラムの表示を選びます。

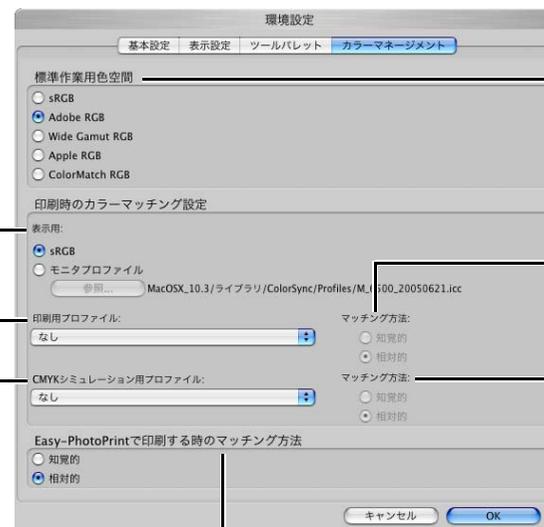
ツールパレットの【RGB 画像調整】タブ画面に表示されるトーンカーブ (p.2-9) の【トーンカーブモード】(トーンカーブの表示)、【補間方法】(結びかた) を選びます。



チェックすると、ピクチャスタイルの項目ごとに設定した、【色あい】、【色の濃さ】、【シャープネス】を保持することができます。(p.2-7)

編集画面、セレクト編集画面のツールパレットを【ドッキング表示】(同一画面表示)にするか、【フローティング表示】(別画面表示)にするかを選びます。

モニターの色空間を選びます。【モニタープロファイル】を選んだときは、【参照】ボタンを押して、使用するモニターのプロファイルを選びます。



RAW 画像を変換/別画像として保存 (p.1-18、p.1-19) した RGB 画像 (JPEG 画像、TIFF 画像) に適用する色空間を 5 種類の中から選びます。

印刷用プロファイルを設定したときのマッチング方法を選びます。

CMYK シミュレーション用プロファイルを設定したときのマッチング方法を選びます。

Easy-PhotoPrint で印刷 (p.1-23) するときのマッチング方法を選びます。

CMYK シミュレーションに使用するプロファイルを選びます。選んだプロファイルの色味で画像が表示され、印刷などの CMYK 環境での色味をシミュレーションすることができます。また、この設定を行うと、各画面の下部に【CMYK】が表示されます。(p.1-2、p.2-2、p.3-2) なお、編集画面 (p.2-2)、セレクト編集画面 (p.3-2) では、キーボードの〈スペース〉キーを押している間は、CMYK シミュレーションの表示を一時的に解除することができます。

画像を印刷 (p.1-22) するとき使用するプリンターのプロファイルを選びます。

- 【ツールパレット】タブ画面の【RGB 画像調整のトーンカーブモードの初期設定】、【カラーマネージメント】タブ画面の【標準作業色空間】を変更したときは、Digital Photo Professional を再起動すると、設定内容が適用されます。ただし、変更前に画像編集 (p.1-11、p.2-7～p.2-10) を行い、【RGB】マーク (p.1-3) が表示されている画像には設定内容が適用されません。トーンカーブは、トーンカーブを〈control〉＋クリックして表示されるメニュー (p.2-9) から、色空間は、【調整】メニュー▶【作業色空間】(p.1-10) から、それぞれ個別に変更してください。
- モニターおよびプリンターのプロファイルを選ぶには、事前に使用するプロファイルがパソコンにインストールされている必要があります。使用するモニターおよびプリンターのプロファイルについては、それぞれの機器の使用説明書を参照してください。

表紙/目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

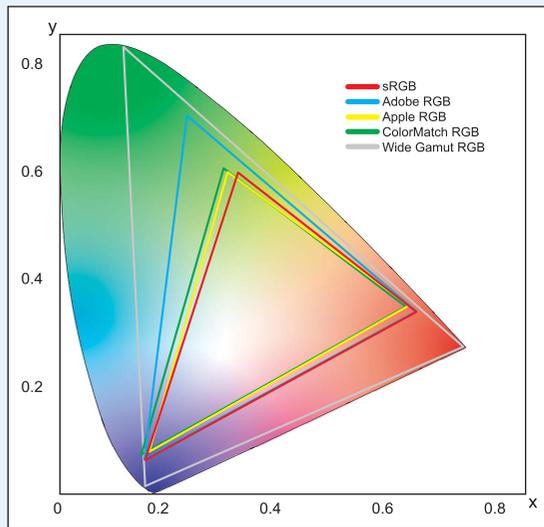
こんなときは

ショートカットキー一覧

索引

- **【標準作業用色空間】**とは別の色空間を画像に設定することができます。(p.1-10)
- 色空間とは色の再現領域（色域特性）を示したもので、Digital Photo Professionalでは、次の5種類の色空間に対応しています。
 - sRGB** : Windowsの標準色空間です。また、モニター、デジタルカメラ、スキャナーなどの標準色空間として広く採用されています。
 - Adobe RGB** : sRGBよりも広域な色空間で、主に商用印刷などの業務用途で採用されています。
 - Apple RGB** : Macintoshの標準色空間です。sRGBよりも若干広域な色空間です。
 - ColorMatch RGB** : sRGBよりも若干広域な色空間で、主に商用印刷などの業務用途で採用されています。
 - Wide Gamut RGB** : Adobe RGBよりもさらに広域な色空間です。
- 各色空間の色域は、以下の色度図を参考にしてください。

Digital Photo Professional が対応している色空間の色度図



		ガンマ値	白色点 (色温度)
■	sRGB	2.2	6500K (D65)
■	Adobe RGB	2.2	6500K (D65)
■	Apple RGB	1.8	6500K (D65)
■	ColorMatch RGB	1.8	5000K (D50)
■	Wide Gamut RGB	2.2	5000K (D50)

- マッチング方法とは、画像印刷時の色変換方法で、**【知覚的】**、**【相対的】** から選ぶことができます。
 - 知覚的** : 変換前と変換後で、色のつながりを維持するようにすべての色に変換されます。色が多少変化しても諧調性を維持した自然な感じの画像を印刷することができます。ただし、画像によっては全体的に彩度が変わることもあります。
 - 相対的** : 変換前と変換後で、共通性のある色にはあまり変換を行いませんが、共通性の無い色があるときは適正に変換されます。画像の大部分を占める共通性のある色は変化が少ないため、彩度があまり変化しない自然な感じの画像を印刷することができます。ただし、画像によっては共通性の無い色やハイライト部分が変化するため、画像として少しトーンが変わることもあります。
- **【CMYK シミュレーション用プロファイル】** は、印刷などのCMYK環境での色味をシミュレーションすることができます。Digital Photo Professionalでは、次の4種類の印刷用プロファイルに対応しています。
 - Euro Standard v1.00** : ヨーロッパの書籍印刷で標準的に使用されているプロファイルで、ヨーロッパの標準印刷をシミュレーションするのに適したプロファイルです。
 - JMPA v1.10** : 日本の書籍印刷などで使用されているプロファイルで、雑誌広告基準カラーの印刷をシミュレーションするのに適したプロファイルです。
 - U.S.Web Coated v1.00** : 北米の書籍印刷で標準的に使用されているプロファイルで、北米の標準印刷をシミュレーションするのに適したプロファイルです。
 - JapanColor2001 type3** : 日本の印刷業界で標準化が進められているプロファイルで、JapanColor規格の印刷をシミュレーションするのに適したプロファイルです。

2 編集画面で詳細な画像編集をする

この章では、編集画面の各機能や画像の表示方法、詳細な画像編集について説明します。

● 編集画面で行える機能のみ説明しています。メイン画面と共通の機能については、各項目に記載されたページを参照してください。

● 表示したい項目をクリックすると、クリックしたページが表示されます。	
編集画面を表示する.....	2-2
画像の表示方法を選ぶ.....	2-3
表示の大きさを選ぶ.....	2-3
グリッドを表示する.....	2-3
編集前、編集後の画像を同時に表示する.....	2-3
RAW 画像調整機能で RAW 画像を編集する.....	2-4
明るさを調整する.....	2-4
ホワイトバランスを調整する.....	2-5
ピクチャースタイルを設定する.....	2-6
RGB 画像調整機能で画像を編集する.....	2-7
トーンカーブ自動調整（トーンカーブアシスト）.....	2-8
トーンカーブ調整.....	2-9

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



編集画面を表示する

編集画面では、1枚の画像を拡大表示し、詳細な画像編集をすることができます。また、編集画面は複数表示することができますので、複数の編集画面を並べて比較しながら編集することもできます。

メイン画面上のサムネイル画像をダブルクリックする

- 編集画面が表示されます。
- 編集画面は、低解像度な画像が表示されたあと高解像度な表示に切り換わります。
- **【ファイル】メニュー ▶ 【編集画面で開く】** を選んで表示することもできます。

メニューバー

[Digital Photo Professional]、[ファイル]、[編集]、[表示]、[調整]、[ツール]、[ウインドウ]、[ヘルプ] メニューを表示します。

画像のパスとファイル名が表示されます。

ツールパレット

RAW 画像調整タブ画面 (p.2-4)

RGB 画像調整タブ画面 (p.2-7)

画像表示エリア

カーソルの座標位置とRGB値(8bit換算)を表示します。

動作モードを表示します。(p.1-25)

画像の色空間(RAW画像は【RAW】と表示)と、Digital Photo Professionalで設定されている作業用色空間を表示します。(p.1-10、p.1-26)

- ツールパレットを表示/非表示にするときは、**【表示】メニュー ▶ 【ツールパレット】** を選びます。
- 画像の回転は、**【調整】メニュー ▶ 【左回転】** または、**【右回転】** を選びます。
- 画像にチェックマークを設定するときは、**【調整】メニュー** から設定するチェックマークの項目を選びます。
- 編集画面の終了は、**【ファイル】メニュー ▶ 【ウインドウを閉じる】** を選びます。

- ⚠ ● 画像により、高解像度な表示に切り換わるまでに時間がかかることがあります。
- 表示できる編集画面の画面数は、ご使用のパソコンのハードディスク空き容量により異なります。

CMYKシミュレーション (p.1-26) を設定したときは、**【CMYK】** が表示されます。また、キーボードの〈スペース〉キーを押している間は、CMYKシミュレーションの表示を一時的に解除することができます。



- ツールパレットを別画面(【フローティング表示】)で表示するか、同一画面(【ドッキング表示】)で表示するかを設定することができます。(p.1-26)
- ツールパレットで行った操作を1つ前の状態に戻したいときは、〈⌘〉+〈Z〉キーを押します。
- ショートカットキーについては、「ショートカットキー一覧」(p.5-2)を参照してください。

ツールパレットを【ドッキング表示】(p.1-26)にして、編集画面の画面サイズを大きくしたときは、画像のサムネイルが表示されます。(ツールパレットが【フローティング表示】(p.1-26)のときは、常に画像のサムネイルが表示されます) また、サムネイルには拡大表示位置が表示され、ドラッグ操作で表示位置を移動させることができます。

表紙/目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



画像の表示方法を選ぶ

画像表示の大きさや表示方法を変更することができます。

表示の大きさを選ぶ

画像の大きさを【画面に合わせる】（画面の大きさに合わせて表示）、【50%表示】、【100%表示】（ピクセル等倍）、【200%表示】の4種類から選ぶことができます。

【表示】メニュー ▶ 設定する大きさの項目を選ぶ

- 選んだ大きさに画像が表示されます。
- 画像を拡大して表示したときは、画像上でドラッグ操作を行うと、画像の表示位置を変えることができます。

 【画面に合わせる】表示の状態、拡大したい箇所をダブルクリックすると【100%表示】になります。また、【50%表示】、【100%表示】、【200%表示】の状態、画像上でダブルクリックすると、【画面に合わせる】表示になります。

グリッドを表示する

画像の水平度や垂直度を確認するためのグリッドを表示することができます。

【表示】メニュー ▶ 【グリッド】を選ぶ

- 画像にグリッドが表示されます。
- 再度同じ操作を行うと、グリッドが非表示になります。

 グリッドの間隔を設定することができます。(p.1-25)

編集前、編集後の画像を同時に表示する

編集前と編集後の画像を並べて表示することができます。

【表示】メニュー ▶ 【編集前後比較】を選ぶ

- 編集前、編集後の画像が分割して表示されます。

 画像の表示方法を変更することができます。(p.1-25)

画像の表示位置を変更する

左右に表示されている画像を上下の表示にすることができます。

【表示】メニュー ▶ 【上下 / 左右切替】を選ぶ

- 再度同じ操作を行うと、左右に表示されます。

表紙 / 目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

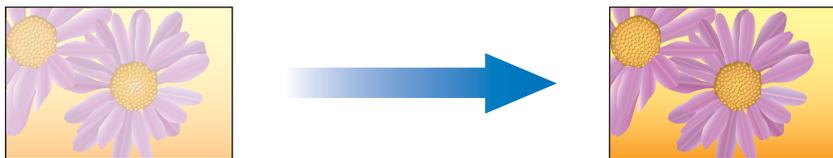
ショートカットキー一覧

索引



RAW 画像調整機能で RAW 画像を編集する

RAW 画像に、メイン画面よりも詳細な編集を行うことができます。なお、RAW 画像調整機能 (p.2-4 ~ p.2-7) で編集を行うと、編集にともなう画像の劣化がほとんどありません。そのため、撮影時の画質を保持したまま、何度でも編集することができます。



1 RAW 画像を編集画面に表示する (p.2-2)

- 複数の画像を表示しているときは、編集したい画像をクリックして一番手前に表示します。

2 ツールパレットの【RAW 画像調整】タブを選ぶ

- 【RAW 画像調整】タブ画面が表示されます。



3 RAW 画像を編集する (p.2-4 ~ p.2-7)

- 編集内容は、コピーして別の画像にペーストし、適用することもできます。(p.1-15)
- 編集した画像を、最後に保存した状態や撮影時の状態に戻すことができます。(p.1-17)

4 編集前と編集後の画像を比較する (p.2-3)

5 編集内容を画像に保存する (p.1-17)

- 編集した RAW 画像を、RGB 画像 (JPEG 画像、TIFF 画像) に変換して保存することもできます。(p.1-18)



- PowerShot Pro1 の RAW 画像は編集できません。
- RGB 画像 (JPEG 画像、TIFF 画像) は、RAW 画像調整機能で編集できません。
- 編集内容を画像に保存する前に Digital Photo Professional を終了すると、画像に行った編集内容は保持されません。必ず、編集内容を画像に保存 (p.1-17) してから終了してください。



- 編集内容は、画像とは別の単独ファイルとして保存することができます。(p.1-15)
- 編集した画像は、Photoshop に転送することができます。(p.1-21)
- RAW 画像の編集は、編集にともなう画像の劣化がほとんどおこらない RAW 画像調整機能 (p.2-4 ~ p.2-7) で編集することをおすすめします。RGB 画像調整機能 (p.2-7 ~ p.2-10) にも同様の機能がありますが、編集にともない多少なりとも画像が劣化します。そのため、RAW 画像調整機能だけでは編集が足りないときに、追加して RGB 画像調整機能を使うことで、画像の劣化を最小限に抑ええた効率的な RAW 画像編集を行うことができます。
- Digital Photo Professional で行った編集内容は、画像を直接編集しているのではなく、仮想的に編集内容 (レシピ) (p.1-15) を適用して画像を表示しています。そのため、編集した画像を撮影時の状態や、最後に保存した状態に戻す (p.1-17) こともでき、何度でも編集作業をやり直すことができます。なお、編集内容にそって直接編集した画像を作成するときは、編集した画像とは別の画像に変換 / 保存します。(p.1-18) ただし、この手順で作成した画像は、画像を直接編集しているため、編集前の状態に戻すことはできません。

明るさを調整する

画像の明るさを -2.0 ~ +2.0 (数値入力では 0.01 ステップ) の範囲で調整することができます。

画像を見ながら調整する



数値を入力して調整します。

左右にドラッグして調整します。

表紙 / 目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



ホワイトバランスを調整する

ホワイトバランスを各種の方法で設定することができます。

ホワイトバランスを選ぶ (p.1-8)

ホワイトバランスを設定することができます。

色温度を設定する (p.1-8)

色温度を 2800 ~ 10000K (100K ステップ) の範囲で設定することができます。

クリックホワイトバランス

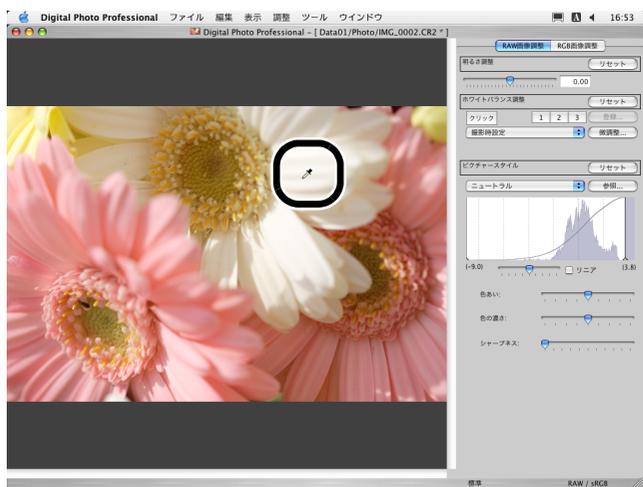
選んだ個所を白の基準として、画像の色を調整することができます。

1 【クリック】 ボタンを押す

→ 画像の上にカーソルを移動すると、【】が【】に変わります。



2 白の基準とする個所をクリックする



- 選んだ個所を白の基準として画像の色が調整されます。
- 続けて別の個所をクリックすると、再度調整されます。
- クリックホワイトバランスを終了するときは、【】 ボタンを押します。

- クリックした個所から 5 × 5 ピクセルの範囲の平均値を基準に画像が調整されます。
- 無彩色 (ニュートラルグレイ) の個所を選んでも、白色の個所を選んだときと同等の調整結果になります。

カラーホイールで調整する (p.1-9)

カラーホイールで好みの色を直接選んで調整することができます。また、色あいを 0 ~ 359 (1 ステップ)、色の濃さを 0 ~ 255 (1 ステップ) の範囲で設定することもできます。

調整したホワイトバランスを登録する (カスタムホワイトバランス)

調整したホワイトバランス結果をカスタムホワイトバランスとして、3 つまで登録することができます。

1 ホワイトバランスを調整する

2 【登録】 ボタンを押す

→ 【カスタムホワイトバランス登録】 画面が表示されます。



3 リストから登録するボタン番号を選ぶ



4 【OK】 ボタンを押す



カスタムホワイトバランス (p.1-9)

登録したカスタムホワイトバランスを適用することができます。

表紙 / 目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引

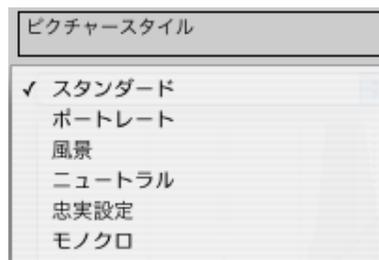


ピクチャースタイルを設定する

ピクチャースタイルを選ぶ

ピクチャースタイルを設定することができます。

リストボックスからピクチャースタイルを選ぶ



スタンダード	鮮やかで、くっきりした画像になります。
ポートレート	肌がきれいで、やくっきりした画像になります。 【色あい】を変えると、肌色を調整することができます。 (p.2-7)
風景	青空や緑の色が鮮やかで、とてもくっきりした画像になります。
ニュートラル	自然な色あいで、メリハリの少ない控えめな画像になります。シャープネスはかかっていません。
忠実設定	5200K 程度の環境光下で撮影した画像が、測色的に被写体の色とほぼ同じになるよう色調整されます。シャープネスはかかっていません。
モノクロ	白黒画像になります。
(カメラで設定したピクチャースタイルファイル)	カメラでピクチャースタイルファイルを設定して、撮影した画像を選んだときに表示されます。リストには、カメラで設定したピクチャースタイルファイルのキャプション名が、() 付きで表示されます。
【読み込んだピクチャースタイルファイル】	【参照】 ボタンを押して、読み込んだピクチャースタイルファイルを選択します。リストには、【参照】 ボタンを押して読み込んだピクチャースタイルファイルのキャプション名が、[] 付きで表示されます。

ピクチャースタイルファイルを適用する

弊社ホームページからダウンロードしてパソコンに保存したピクチャースタイルファイルを読み込んで、画像に適用することができます。

1 【参照】 ボタンを押す

→ 【開く】 画面が表示されます。



2 ピクチャースタイルファイルを選び、【開く】 ボタンを押す

→ ピクチャースタイルファイルが読み込まれます。

3 リストボックスから読み込んだピクチャースタイルファイルを選ぶ

→ 読み込んだピクチャースタイルファイルが画像に適用されます。

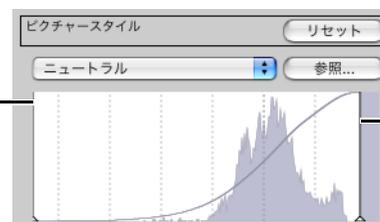
📄 ピクチャースタイルファイルとは、ピクチャースタイル機能を拡充するためのファイルです。ピクチャースタイルファイルの詳細な内容については、弊社ホームページを参照してください。

シャドウ／ハイライトポイントを調整する

シャドウポイント（もっとも暗い部分）とハイライトポイント（もっとも明るい部分）を設定し、画像の階調を調整することができます。

画像を見ながら調整する

グラフの左端にカーソルを移動すると【⬅️】が【↔️】になります。右にドラッグしてシャドウポイントを調整します。



グラフの右端にカーソルを移動すると【⬅️】が【↔️】になります。左にドラッグしてハイライトポイントを調整します。

トーンカーブを選ぶ

トーンカーブを選ぶことができます。

画像を見ながらトーンカーブを選ぶ



チェックするとトーンカーブをリニアにします。
左右にドラッグして、9種類のトーンカーブから1つを選びます。

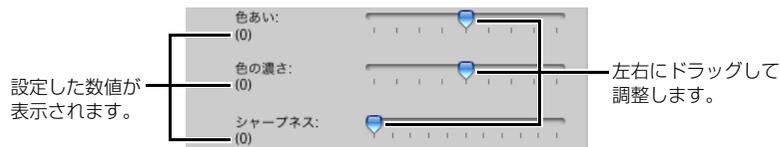
【リニア】は、Photoshopなどの画像編集用ソフトウェアで、別途画像調整を行いたいときに選びます。

色あい、色の濃さ、シャープネスを調整する

色あい、色の濃さを-4～+4（1ステップ）の範囲、シャープネスを0～10（1ステップ）の範囲で調整することができます。

また、【ピクチャスタイル】リストボックスで【モノクロ】を選んだとき（p.2-6）に表示される【フィルター効果】は、【なし】、【黄】、【オレンジ】、【赤】、【緑】の5種類から、【調色】は、【なし】、【セピア】、【青】、【紫】、【緑】の5種類から選ぶことができます。

画像を見ながら調整する



RGB 画像調整機能で画像を編集する

RAW 画像、RGB 画像（JPEG 画像、TIFF 画像）に、各種の編集を行うことができます。なお、RGB 画像調整機能（p.2-7～p.2-10）で編集を行うと、編集にともない多少なりとも画像が劣化します。RGB 画像調整機能を使うときは、編集にともなう画質の変化を確認しながら編集を行ってください。



1 画像を編集画面に表示する（p.2-2）

- 複数の画像を表示しているときは、編集したい画像をクリックして一番手前に表示します。

2 ツールパレットの【RGB 画像調整】タブを選ぶ

- 【RGB 画像調整】タブ画面が表示されます。



3 画像を編集する（p.2-7～p.2-10）

- 編集内容は、コピーして別の画像にペーストし、適用することもできます。（p.1-15）
- 編集した画像を、最後に保存した状態や撮影時の状態に戻すことができます。（p.1-17）

4 編集前と編集後の画像を比較する（p.2-3）

5 編集内容を画像に保存する（p.1-17）

- 編集した RAW 画像を、RGB 画像（JPEG 画像、TIFF 画像）に変換して保存することもできます。（p.1-18）
- 編集した RGB 画像（JPEG 画像、TIFF 画像）を、別画像として保存することもできます。（p.1-18）

⚠ 編集内容を画像に保存する前に Digital Photo Professional を終了すると、画像に行った編集内容は保持されません。必ず、編集内容を画像に保存（p.1-17）してから終了してください。

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



- 編集内容は、画像とは別の単独ファイルとして保存することができます。(p.1-15)
- 編集した画像は、Photoshop に転送することができます。(p.1-21)
- RAW 画像の編集は、編集にともなう画像の劣化がほとんどおこらない RAW 画像調整機能 (p.2-4 ~ p.2-7) で編集することをおすすめします。RGB 画像調整機能 (p.2-7 ~ p.2-10) にも同様の機能がありますが、編集にともない多少なりとも画像が劣化します。そのため、RAW 画像調整機能だけでは編集が足りないときに、追加して RGB 画像調整機能を使うことで、画像の劣化を最小限に押さえた効率的な RAW 画像編集を行うことができます。
- Digital Photo Professional で行った編集内容は、画像を直接編集しているのではなく、仮想的に編集内容 (レシビ) (p.1-15) を適用して画像を表示しています。そのため、編集した画像を撮影時の状態や、最後に保存した状態に戻す (p.1-17) こともでき、何度でも編集作業をやり直すことができます。なお、編集内容にそって直接編集した画像を作成するときは、編集した画像とは別の画像に変換／保存します。(p.1-18) ただし、この手順で作成した画像は、画像を直接編集しているため、編集前の状態に戻すことはできません。

トーンカーブ自動調整 (トーンカーブアシスト)

画像のトーンカーブ (p.2-9) を自動的に調整して、標準的な画像の明るさ、色に調整することができます。

【】 ボタンを押す

→ 画像が調整されます。



! 画像によっては、標準的な明るさや色に調整されないことがあります。そのときは、トーンカーブ調整機能 (p.2-9) で画像を調整してください。

トーンカーブ調整

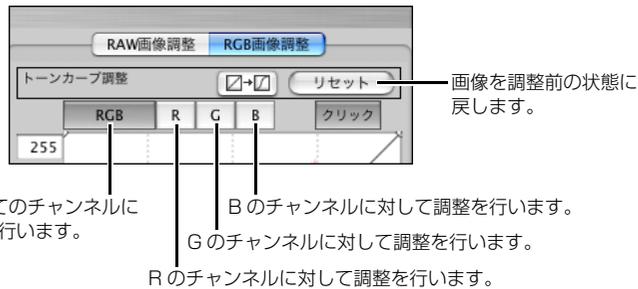
トーンカーブは、調整前の画像（入力）と、調整後の画像（出力）の明るさと色の濃さをグラフ化したものです。撮影時に、カメラが自動的に調整した画像の明るさや色の濃さを調整することができます。また、画像全体の入力と出力を一括して調整したり、R（赤）・G（緑）・B（青）を個別に調整することもできます。

横軸は、調整前の画像（入力）の明るさと色の濃さを表し、左側がシャドウ（画像の暗い部分）、右側がハイライト（画像の明るい部分）を示しています。

縦軸は、調整後の画像（出力）の明るさと色の濃さを表し、下側がシャドウ、上側がハイライトを示しています。

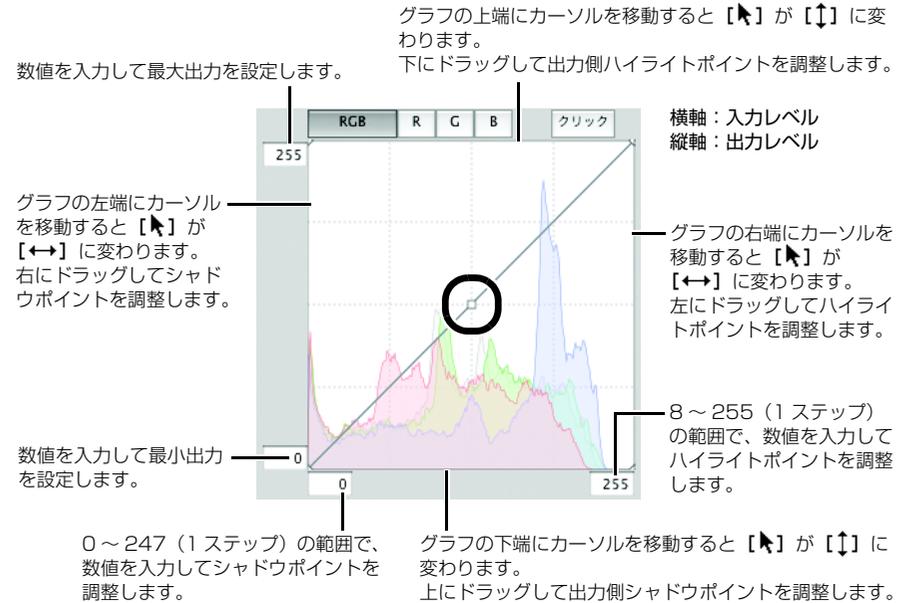
トーンカーブを調整する

1 ボタンを押して、チャンネルを選ぶ



2 トーンカーブを調整する

- トーンカーブをクリックして【□】を表示し、任意の位置へドラッグします。
- 【□】は8個まで設定することができます。
- 【□】をダブルクリックすると削除されます。



⚠ シャドウポイントとハイライトポイントの最小の差は8ステップです。

📄 トーンカーブの結びかた（曲線／直線）、トーンカーブの表示（RGB R G B／輝度 R G B）は、〈control〉＋クリックして表示されるメニューや、【環境設定】画面の【ツールパレット】タブ画面（p.1-26）で変更することができます。

クリックホワイトバランス

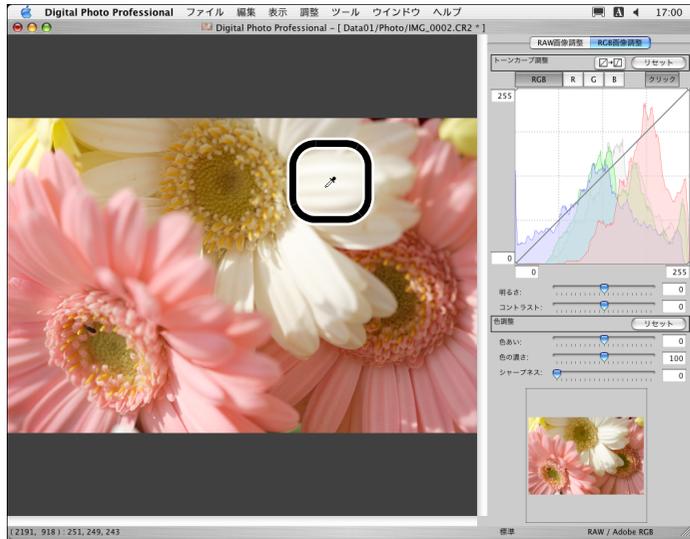
選んだ個所を白の基準として、画像の色を調整することができます。

1 【クリック】 ボタンを押す

→ 画像の上にカーソルを移動すると、【↖】が【👉】に変わります。



2 白の基準とする個所をクリックする



- 選んだ個所を白の基準として画像の色が調整されます。
- 続けて別の個所をクリックすると、再度調整されます。
- クリックホワイトバランスを終了するときは、【クリック】 ボタンを押します。

- クリックした個所から 1 × 1 ピクセルの値を基準に画像が調整されます。
- 無彩色（ニュートラルグレイ）の個所を選んでも、白色の個所を選んだときと同等の調整結果になります。

明るさ、コントラストを調整する

明るさ、コントラストを -100 ~ +100（数値入力では 1 ステップ）の範囲で調整することができます。

画像を見ながら調整する

左右にドラッグして調整します。

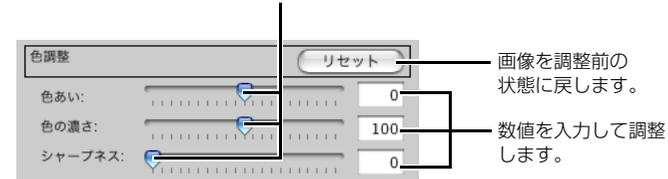


色あい、色の濃さ、シャープネスを調整する

色あいを -30 ~ +30（数値入力では 1 ステップ）の範囲、色の濃さを 0 ~ 200（数値入力では 1 ステップ）の範囲、シャープネスを 0 ~ 500（数値入力では 1 ステップ）の範囲で調整することができます。

画像を見ながら調整する

左右にドラッグして調整します。



表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



3 セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

この章では、セレクト編集画面の各機能や画像の表示方法について説明します。

- セレクト編集画面の機能は、1章のメイン画面、2章の編集画面の機能と同様です。詳しい操作方法については、各項目に記載されたページを参照してください。

- 表示したい項目をクリックすると、クリックしたページが表示されます。

セレクト編集画面を表示する 3-1

セレクト編集画面を表示する

セレクト編集画面では、複数の画像から1枚の画像を選んで、詳細な画像編集をすることができます。

1 メイン画面で複数の画像を選ぶ

2 【セレクト編集画面】 ボタンを押す

- メイン画面からセレクト編集画面に切り換わります。
- サムネイル画像表示エリアでクリックした画像が、画像表示エリアに表示されます。
- 低解像な画像が表示されたあと、高解像な表示に切り換わります。
- 【表示】メニュー ▶ 【セレクト編集画面で編集】を選んで表示することもできます。
- セレクト編集画面の詳しい機能については、[次ページ](#)を参照してください。



表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

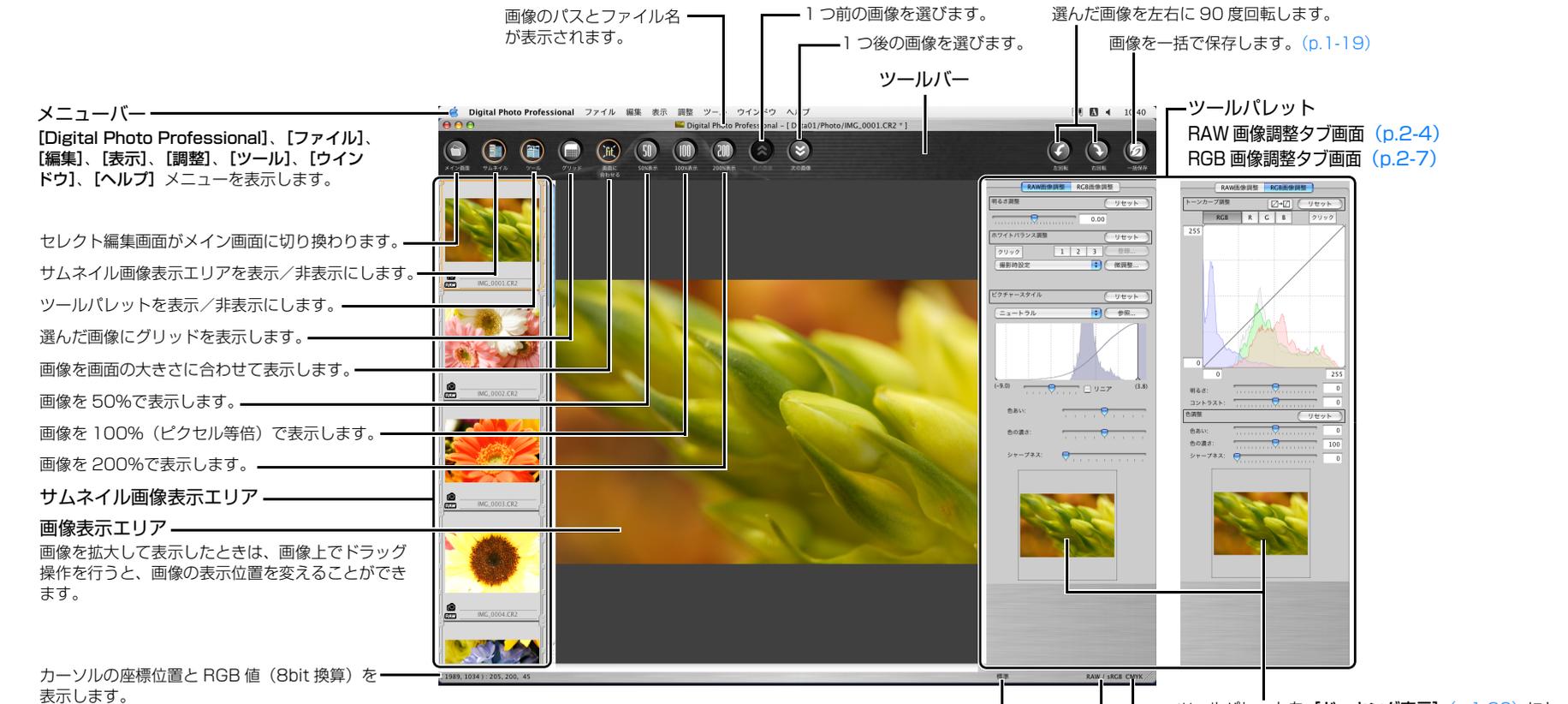
こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



セレクト編集画面



- サムネイル画像表示エリアの位置を変更するときは、[表示] メニュー ▶ [サムネイル位置変更] を選びます。
- サムネイル画像表示エリアから画像を削除するときは、[ファイル] メニュー ▶ [リストから削除] を選びます。
- 画像にチェックマークを設定するときは、[調整] メニューから設定するチェックマークの項目を選びます。
- セレクト編集画面の終了は、[メイン画面] ボタンを押します。

! 画像により、高解像な表示に切り換わるまでに時間がかかることがあります。

- ツールパレットを別画面 ([フローティング表示]) で表示するか、同一画面 ([ドッキング表示]) で表示するかを設定することができます。(p.1-26)
- ツールパレットで行った操作を 1 つ前の状態に戻したいときは、〈⌘〉+〈Z〉キーを押します。
- ツールバーの機能ボタンとメニューバーの各メニューでは、同様の操作を行うことができます。
- ショートカットキーについては、「ショートカットキー一覧」(p.5-3) を参照してください。

表紙/目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



4 クイックチェック画面で画像を確認する

クイックチェック画面では、1枚の画像を拡大表示して、高速に閲覧/確認を行うことができます。

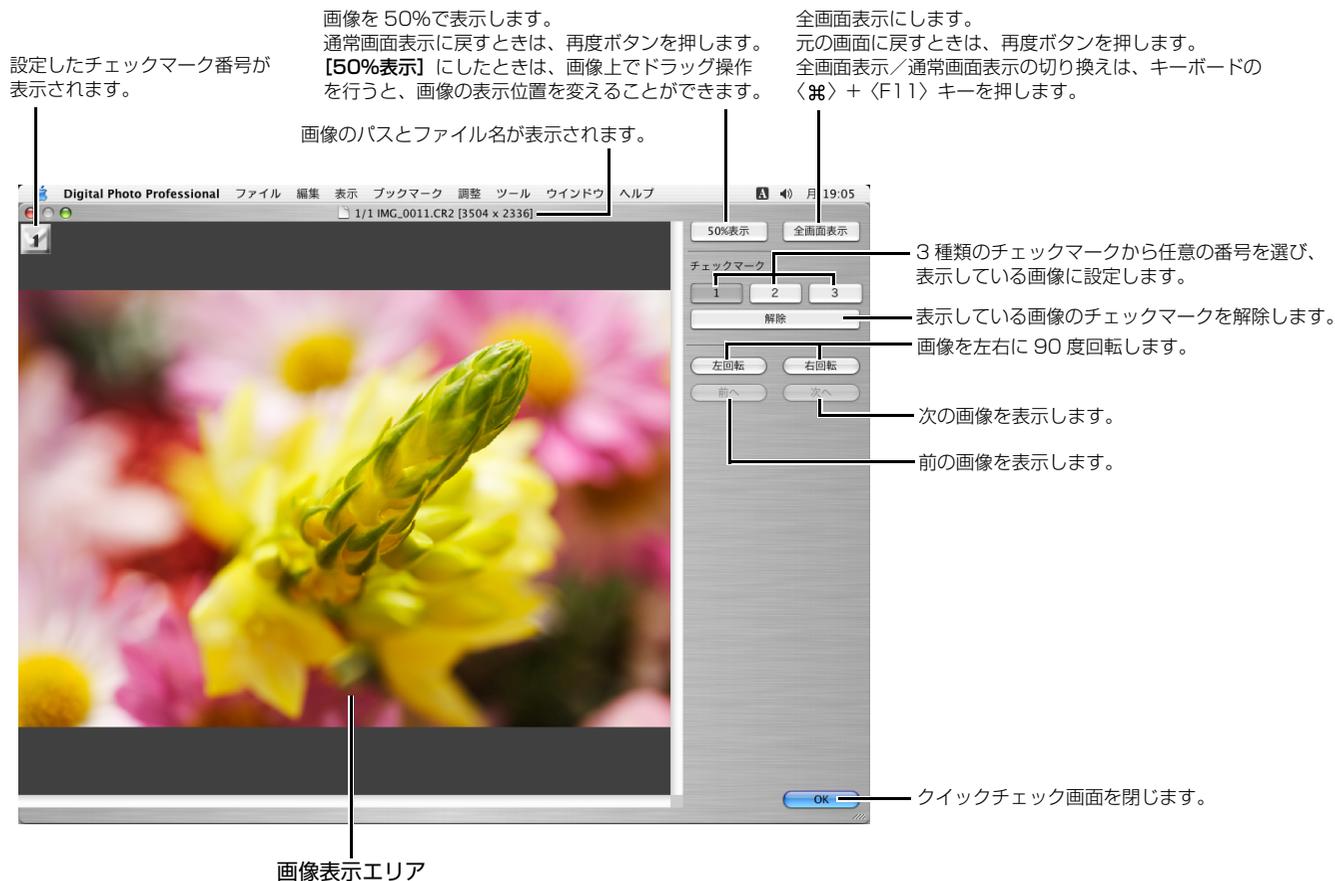
1 メイン画面で複数の画像を選ぶ

2 [ツール] メニュー▶ [クイックチェックツールを 起動] を選ぶ

→ クイックチェック画面が表示されます。

3 画像を閲覧/確認する

4 [OK] ボタンを押す



- 各種の設定、全画面表示/通常表示の切り換えは、画面上で〈control〉+クリックして表示されるメニューでも行うことができます。
- ショートカットキーについては、「ショートカットキー一覧 (p.5-2) を参照してください。

表紙/目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



この章では、各種トラブルの解決方法や Digital Photo Professional の削除、ショートカットキーについて説明します。

こんなときは

「手順通りにインストールできない」、「Digital Photo Professional が動作しない」、「Digital Photo Professional で画像を表示できない」というときは、以下の項目を確認してください。

手順通りにインストールできない

- 管理者以外のアカウントでログインしていませんか？
→ 管理者権限のあるアカウントでログインしないと、ソフトウェアをインストールすることができません。管理者権限のあるアカウントでログインしなおしてください。
ログイン方法、管理者の設定方法については、使用している Macintosh や OS X の使用説明書などを参照してください。

Digital Photo Professional が動作しない

- Digital Photo Professional の動作環境に合ったパソコンを使用していますか？
→ 動作環境を確認してください。(p.0-1)
- RAM (メモリ) が不足していませんか？
→ 動作環境を確認してください。(p.0-1)
- 解像度を [1024 × 768] 未満で使用していませんか？
→ 解像度を [1024 × 768] 以上に設定してください。(p.0-1)
- カラーを [約 32,000 カラー] 未満で使用していませんか？
→ カラーを [約 32,000 カラー] 以上に設定してください。(p.0-1)
- 複数のソフトウェアを起動していませんか？
→ Digital Photo Professional 以外のソフトウェアを終了してください。動作環境 (p.0-1) に記載された RAM (メモリ) 容量をパソコンに搭載していても、Digital Photo Professional と共に、他のソフトウェアを起動していると、RAM (メモリ) が不足することがあります。
- Digital Photo Professional の初期設定ファイルが壊れている？
→ 使用している Digital Photo Professional ソフトウェアの初期設定ファイルが壊れている可能性があります。すべてのソフトウェアを終了して、以下の手順で [Preferences] フォルダ内のファイルを削除して、再度 Digital Photo Professional を起動してください。システムが保存されているハードディスクドライブ ▶ [ユーザ] フォルダ ▶ ログインしているユーザーのフォルダ ▶ [ライブラリ] フォルダ ▶ [Preferences] フォルダの順に開き、[com.canon.Digital Photo Professional.plist] を削除します。OS X 10.2 では、システムが保存されているハードディスクドライブをダブルクリック ▶ [ホーム] ボタンをクリック ▶ [ライブラリ] フォルダ ▶ [Preferences] フォルダの順に開き、[com.canon.Digital Photo Professional.plist] を削除します。

Digital Photo Professional で画像を表示できない

- Digital Photo Professional が対応している画像以外の画像を表示していませんか？
→ 対応画像を確認してください。(p.0-1)

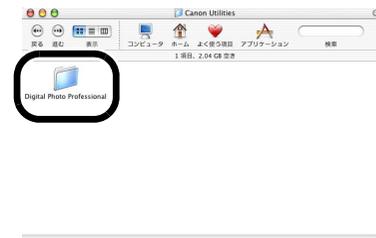
● 表示したい項目をクリックすると、クリックしたページが表示されます。	
こんなときは.....	5-1
ソフトウェアを削除する (アンインストール).....	5-1
ショートカットキー一覧.....	5-2
索引.....	5-4

ソフトウェアを削除する (アンインストール)

- インストールしたときのアカウントでログインしてください。
- ソフトウェアの削除をはじめる前に、起動しているすべてのソフトウェアを終了してください。
- 削除するフォルダをゴミ箱に移動したときは、[Finder] メニュー ▶ [ゴミ箱を空にする] を選び、ゴミ箱を空にしてください。ゴミ箱を空にしていない状態では、ソフトウェアの再インストールはできません。

1 ソフトウェアが保存されているフォルダを表示する

- [Canon Utilities] フォルダを開きます。



2 削除したいソフトウェアのフォルダをゴミ箱に移動する

3 デスクトップ上で [Finder] メニュー ▶ [ゴミ箱を空にする] を選ぶ

- ソフトウェアが削除されます。
- ソフトウェアの削除が終了したら、パソコンを再起動してください。

! ゴミ箱を空にして削除したデータは復元することができません。十分に注意してから削除してください。

表紙 / 目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



ショートカットキー一覧

メイン画面

動作	キー	動作	キー
環境設定	⌘ + ,	選択を反転	option + ⌘ + I
Digital Photo Professional を隠す	⌘ + H	チェックマーク 1 付き画像のみ選択	option + ⌘ + 1
ほかを隠す	option + ⌘ + H	チェックマーク 2 付き画像のみ選択	option + ⌘ + 2
Digital Photo Professional を終了	⌘ + Q	チェックマーク 3 付き画像のみ選択	option + ⌘ + 3
編集画面で開く	⌘ + O	レシピをクリップボードにコピー	option + ⌘ + C
ウインドウを開く	⌘ + N	レシピを選択画像にペースト	option + ⌘ + V
ウインドウを閉じる	⌘ + W	セレクト編集画面で編集	⌘ + ⇨
レシピを付加して保存	⌘ + S	サムネイル大	⌘ + 1
レシピを付加して別名で保存	shift + ⌘ + S	サムネイル中	⌘ + 2
画像にサムネイルを付加して保存	shift + ⌘ + T	サムネイル小	⌘ + 3
変換して保存	⌘ + D	情報付きサムネイル	⌘ + 4
一括保存	⌘ + B	左回転	⌘ + L
新規フォルダの作成	shift + ⌘ + N	右回転	⌘ + R
ページ設定	shift + ⌘ + P	チェックマーク 1 をつける	⌘ + F1
プリント	⌘ + P	チェックマーク 2 をつける	⌘ + F2
詳細指定印刷	control + P	チェックマーク 3 をつける	⌘ + F3
コンタクトシート印刷	control + ⌘ + P	チェックマークをはずす	⌘ + F4
Easy-PhotoPrint で印刷	⌘ + E	最後に保存した状態に戻す	option + ⌘ + Z
削除	⌘ + delete	撮影時の状態に戻す	control + ⌘ + Z
画像情報表示	⌘ + I	EOS Utility を起動	option + ⌘ + E
コピー	⌘ + C	Photoshop へ転送	option + ⌘ + P
ペースト	⌘ + V	クイックチェックツールを起動	option + ⌘ + F
全選択	⌘ + A	トリミングツールを起動	option + ⌘ + T
全解除	shift + ⌘ + A	コピースタンプツールを起動	option + ⌘ + S
RAW 画像のみ選択	option + ⌘ + A	リネームツールを起動	option + ⌘ + R
JPEG 画像のみ選択	option + ⌘ + J	ウインドウをしまう	⌘ + M

編集画面

動作	キー	動作	キー
環境設定	⌘ + ,	ツールパレット表示/非表示	⌘ + T
Digital Photo Professional を隠す	⌘ + H	画面に合わせる	⌘ + 4
ほかを隠す	option + ⌘ + H	50% 表示	⌘ + 1
Digital Photo Professional を終了	⌘ + Q	100% 表示	⌘ + 2
ウインドウを閉じる	⌘ + W	200% 表示	⌘ + 3
レシピを付加して保存	⌘ + S	左回転	⌘ + L
レシピを付加して別名で保存	shift + ⌘ + S	右回転	⌘ + R
変換して保存	⌘ + D	チェックマーク 1 をつける	⌘ + F1
ページ設定	shift + ⌘ + P	チェックマーク 2 をつける	⌘ + F2
プリント	⌘ + P	チェックマーク 3 をつける	⌘ + F3
詳細指定印刷	control + P	チェックマークをはずす	⌘ + F4
コンタクトシート印刷	control + ⌘ + P	最後に保存した状態に戻す	option + ⌘ + Z
Easy-PhotoPrint で印刷	⌘ + E	撮影時の状態に戻す	control + ⌘ + Z
画像情報表示	⌘ + I	Photoshop へ転送	option + ⌘ + P
ツールパレットの操作を 1 つ前の状態に戻す	⌘ + Z	トリミングツールを起動	option + ⌘ + T
ツールパレットの操作を 1 つ前の状態にやり直す	shift + ⌘ + Z	コピースタンプツールを起動	option + ⌘ + S
レシピをクリップボードにコピー	option + ⌘ + C	ウインドウをしまう	⌘ + M
レシピを選択画像にペースト	option + ⌘ + V	CMYK シミュレーション解除 (キーを押している間のみ有効)	スペース

クイックチェック画面

動作	キー	動作	キー
全画面表示/通常画面表示の切り換え	⌘ + F11	左回転	⌘ + L
全画面表示から通常画面表示への切り換え	esc	右回転	⌘ + R
50% 表示/画面サイズに合わせた表示への切り換え	⌘ + F10	先頭の画像を表示	home
チェックマーク 1 をつける	⌘ + F1	最後の画像を表示	end
チェックマーク 2 をつける	⌘ + F2	前画像を表示	⌘ + ←
チェックマーク 3 をつける	⌘ + F3	次画像を表示	⌘ + →
すべてのチェックマークをはずす	⌘ + F4	チェックマークを切り換える	V

表紙/目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引



セレクト編集画面

動作	キー	動作	キー
環境設定	⌘ + ,	ツールパレット表示／非表示	⌘ + T
Digital Photo Professional を隠す	⌘ + H	画面に合わせる	⌘ + 4
ほかを隠す	option + ⌘ + H	50% 表示	⌘ + 1
Digital Photo Professional を終了	⌘ + Q	100% 表示	⌘ + 2
ウィンドウを閉じる	⌘ + W	200% 表示	⌘ + 3
レシピを付加して保存	⌘ + S	前画像を表示	⌘ + ↑
レシピを付加して別名で保存	shift + ⌘ + S	次画像を表示	⌘ + ↓
変換して保存	⌘ + D	左回転	⌘ + L
一括保存	⌘ + B	右回転	⌘ + R
ページ設定	shift + ⌘ + P	チェックマーク 1 をつける	⌘ + F1
プリント	⌘ + P	チェックマーク 2 をつける	⌘ + F2
詳細指定印刷	control + P	チェックマーク 3 をつける	⌘ + F3
コンタクトシート印刷	control + ⌘ + P	チェックマークをはずす	⌘ + F4
Easy-PhotoPrint で印刷	⌘ + E	最後に保存した状態に戻す	option + ⌘ + Z
リストから削除	⌘ + delete	撮影時の状態に戻す	control + ⌘ + Z
画像情報表示	⌘ + I	EOS Utility を起動	option + ⌘ + E
ツールパレットの操作を 1 つ前の状態に戻す	⌘ + Z	Photoshop へ転送	option + ⌘ + P
ツールパレットの操作を 1 つ前の状態にやり直す	shift + ⌘ + Z	トリミングツールを起動	option + ⌘ + T
レシピをクリップボードにコピー	option + ⌘ + C	コピースタンプツールを起動	option + ⌘ + S
レシピをペースト	option + ⌘ + V	ウィンドウをしまう	⌘ + M
レシピを全画像にペースト	option + ⌘ + A	CMYK シミュレーション解除 (キーを押している間のみ有効)	スペース
メイン画面に戻る	⌘ + ←	—	—

トリミング画面

動作	キー	動作	キー
前画像を表示	⌘ + ←、page up	全画面表示から通常画面表示への切り換え	esc
次画像を表示	⌘ + →、page down	トリミング範囲をリセット	delete
全画面表示／通常画面表示の切り換え	⌘ + F11	トリミングを設定せずに終了	⌘ + W

コピースタンプ画面

動作	キー	動作	キー
全画面表示／通常画面表示の切り換え	⌘ + F11	修正範囲の半径または、コピー先の半径を 5 画素単位で設定	option + ⌘ + ↑、option + ⌘ + ↓
全画面表示から通常画面表示への切り換え	esc	修正範囲の半径または、コピー先の半径を 1 画素単位で設定	shift + ⌘ + ↑、shift + ⌘ + ↓
前画像を表示	⌘ + ←	コピー元を指定する * (100% 表示のときのみ有効)	option + クリック
次画像を表示	⌘ + →	コピー元指定後に画像の表示位置を移動 (100% 表示のときのみ有効)	control + ドラッグ
修正内容をコピー	⌘ + C	スタンプの種類をブラシに設定 *	1
修正内容をペースト (縦横が同じ画素数の画像選択時のみ有効)	⌘ + V	スタンプの種類を鉛筆に設定 *	2
1 つ前の状態に戻す	⌘ + Y	1 つ前の修正箇所を表示する	B
最後の修正状態に戻す	option + ⌘ + Y	1 つ先の修正箇所を表示する	F
1 つ前の状態に戻す	⌘ + Z	画像の表示位置を一時的に移動	スペース + ドラッグ
修正前の状態に戻す	option + ⌘ + Z	—	—

* コピースタンプ機能 (p.1-14) 使用時のみ動作します。

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の
一覧表示と簡単な
画像編集をする

編集画面で詳細な
画像編集をする

セレクト編集画面で
詳細な画像編集を
する

クイックチェック
画面で画像を確認
する

こんなときは

ショートカットキー
一覧

索引



索引

英数字

Adobe RGB.....	1-10、1-27
Apple RGB.....	1-10、1-27
ColorMatch RGB.....	1-10、1-27
Digital Photo Professional を起動する.....	1-2
Digital Photo Professional を終了する.....	1-2
RAW 画像調整機能.....	0-5、1-7、2-4
RAW 画像調整タブ画面.....	2-2、3-2
RAW 画像を編集する.....	1-7、2-4
RGB 画像調整機能.....	0-5、1-11、2-7
RGB 画像調整タブ画面.....	2-2、3-2
sRGB.....	1-10、1-27
Wide Gamut RGB.....	1-10、1-27

あ

明るさを調整する.....	1-11
明るさを調整する (RAW 画像).....	1-10、2-4
新しいフォルダを作成する.....	1-4
アンインストール.....	5-1
印刷機能.....	0-5

か

各機能画面の構成.....	0-3
画像調整機能.....	0-5
画像にサムネイルを付加する.....	1-5
画像にチェックマークを設定する.....	1-2、2-2、3-2、4-1
画像に表示される情報.....	1-3
画像の表示方法を選ぶ	
画像情報を表示する.....	1-6
画像を並べ替える.....	1-6
グリッドを表示する.....	2-3
撮影情報を表示する.....	1-5
サムネイル表示の大きさを選ぶ.....	1-5
表示の大きさを選ぶ.....	2-3、3-2
編集前、編集後の画像を同時に表示する.....	2-3

画像編集用ソフトウェアに画像を転送する

1 枚の画像を Photoshop に転送する.....	1-21
複数の画像を画像編集用ソフトウェアに転送する.....	1-21
画像を印刷する	
1 枚印刷 (自動設定印刷).....	1-22
1 枚印刷 (詳細指定印刷).....	1-22
キヤノン製 PIXUS / BJ プリンターで印刷する.....	1-23
キヤノン製大判プリンターで印刷する.....	1-24
コンタクトシート印刷.....	1-23

画像を回転する.....	1-2、2-2、3-2、4-1
画像を切り抜く.....	1-12
画像をコピーする.....	1-5
画像を削除する.....	1-5
画像を修正する.....	1-13、1-14
画像を表示する.....	1-3
画像を編集する.....	1-11、2-7
カメラから画像を取り込む.....	1-3
環境設定.....	1-25
機能目次.....	0-5
クイックチェック画面.....	4-1
クイックチェック画面を終了する.....	4-1
クイックチェック画面を表示する.....	1-6、4-1
コピースタンプ機能.....	1-14
コピースタンプ機能で画像を修正する.....	1-14

さ

色度図.....	1-10、1-27
ショートカットキー一覧.....	5-2
初期設定とは別の色空間を設定する.....	1-10
整理機能.....	0-5
セレクト編集画面.....	3-2
セレクト編集画面を終了する.....	3-2
セレクト編集画面を表示する.....	1-6、3-1
ソフトウェアを削除する.....	5-1

た

対応画像.....	0-1
動作環境.....	0-1
トーンカーブアシスト.....	1-11、2-8
トーンカーブ自動調整.....	1-11、2-8
トーンカーブ調整.....	2-9
明るさ、コントラストを調整する.....	2-10
色あい、色の濃さ、シャープネスを調整する.....	2-10
クリックホワイトバランス.....	2-10
トーンカーブを調整する.....	2-9
トリミング機能.....	1-12

は

バッチ処理.....	1-19
ピクチャスタイルを設定する.....	2-6
色あい、色の濃さ、シャープネスを調整する.....	2-7
シャドウ/ハイライトポイントを調整する.....	2-6
トーンカーブを選ぶ.....	2-7
ピクチャスタイルファイルを適用する.....	2-6
ピクチャスタイルを選ぶ.....	2-6
表示機能.....	0-5
ファイル名を一括して変更する.....	1-20
ブックマークを整理する.....	1-4
編集画面.....	2-2
編集画面を終了する.....	2-2
編集画面を表示する.....	1-6、2-2
編集した画像を変換/別画像として保存する	
1 枚の画像を変換/別画像として保存する.....	1-18
複数の画像を一括して変換/別画像として保存する.....	1-19
編集内容を画像に保存する	
上書き保存する.....	1-17
別画像として保存する.....	1-17
編集内容を使用する.....	1-15

編集内容を元の状態に戻す

最後に保存した状態に戻す.....	1-17
撮影時の状態に戻す.....	1-17
ホワイトバランスを調整する.....	1-7、2-5
色温度を設定する.....	1-8、2-5
カスタムホワイトバランス.....	1-9、2-5
カラーホイールで調整する.....	1-9、2-5
クリックホワイトバランス.....	1-9、2-5
調整したホワイトバランスを登録する (カスタムホワイトバランス).....	2-5
ホワイトバランスを選ぶ.....	1-8、2-5

ま

メイン画面.....	1-2
------------	-----

や

よく使うフォルダをブックマークに登録する.....	1-4
---------------------------	-----

ら

リペア機能.....	1-13
リペア機能で画像を修正する.....	1-13
リモート撮影機能との連携.....	1-24
レシピ.....	1-15
レシピをコピーして別の画像に適用する.....	1-15
レシピを保存する.....	1-15
レシピを読み込んでペーストする.....	1-15

表紙/目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を確認する

こんなときは

ショートカットキー一覧

索引

